

# 防災

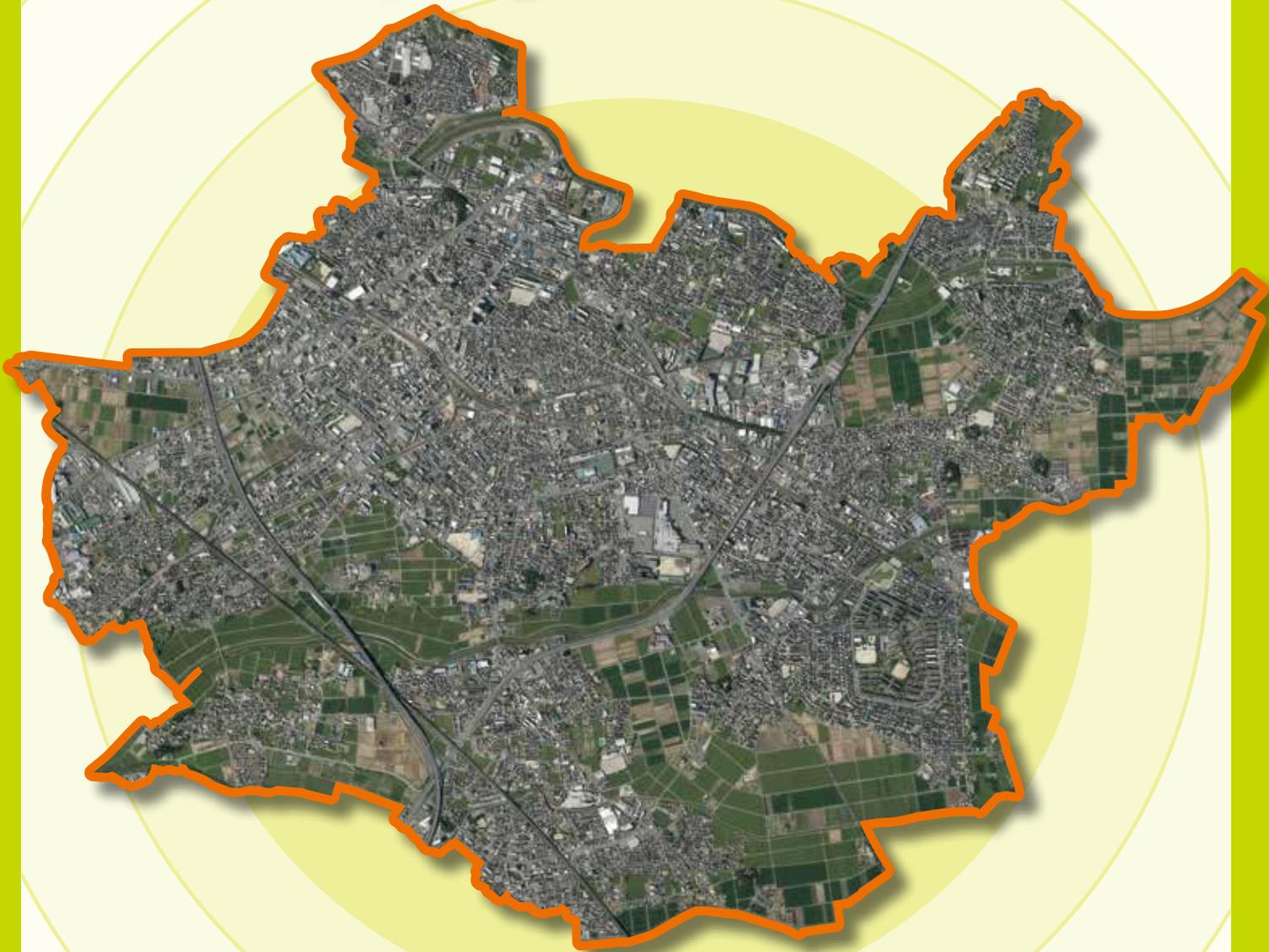
保存版

# 知立市



知立市マスコットキャラクター  
「ちりゅっぴ」

# ガイドブック



この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、知立市全国航空写真を複製したもの（平成28年2月10日付け知都計第329号承認）です。

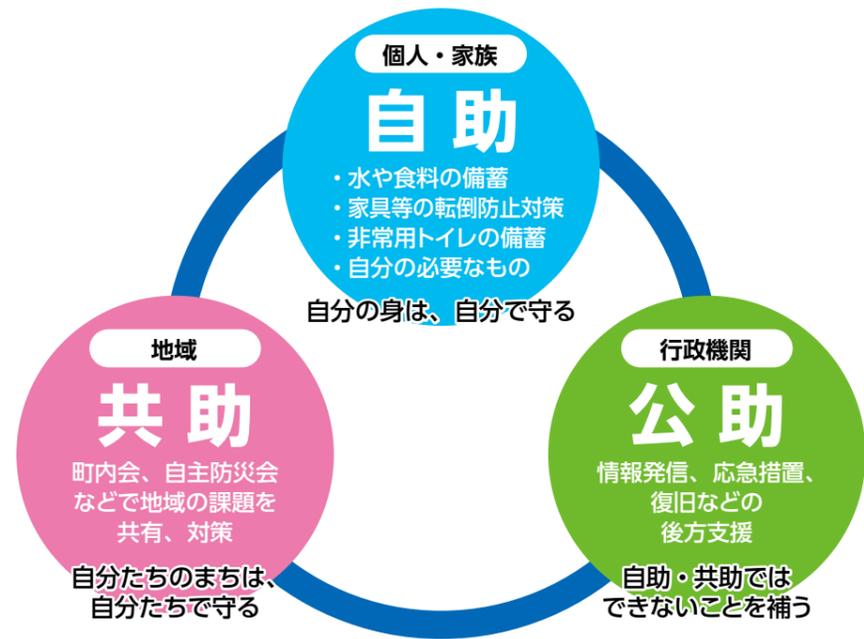
## 知立市

平成28年3月  
(令和3年11月 3刷)

# 自分たちのいのちは、自分たちで守る

## 「自助」と「共助」で防災力アップ！

災害時は「自助」と「共助」「公助」の3つが連携することが大切です。自分や家族の身を守り、地域で支え合うことで災害の被害を最小限に抑えましょう。



### 助け合えるコミュニティづくりを!

大規模災害時では、すぐに消防や警察などの救援が得られないとき頼りになるのは、住民自身が自発的に作る防災のための組織（自主防災会）です。「自分たちのまちは自分たちで守る」心構えで、地域の自主防災会の活動に積極的に参加し、助け合えるコミュニティづくりをしましょう。

#### ■自主防災会とは

災害発生時に消防などの防災機関が現場に到着して活動を開始するまでの間に初動活動をして被害を最小限に抑えたり、防災機関の活動をサポートして被害の拡大を防いだり、避難所運営などの役割を果たす組織です。市内には各町で構成される自主防災会が28あります。

#### ■自主防災会連絡協議会とは

市内すべての自主防災会が集まり、自主防災組織間の連携を高め相互の連絡調整を図ることにより、地域の防災・減災体制の強化や地域全体での防災意識の向上に寄与することを目的に平成25年（2013年）7月に設立されました。

## 目次

### 地震対策編

南海トラフで起きる地震とは	1
南海トラフ巨大地震の想定①	2
南海トラフ巨大地震の想定②	3
南海トラフ巨大地震の想定③	4
南海トラフ巨大地震の想定④	5
南海トラフ地震臨時情報とは	6
学区ごとの被害想定	
知立小学校区	8
猿渡小学校区	10
来迎寺小学校区	12
知立東小学校区	14
知立西小学校区	16
八ツ田小学校区	18

知立南小学校区	20
地震が起きたらどうするか?	22
命を守る減災対策	24
建物倒壊危険度マップ	26
延焼危険度マップ	27

### 風水害対策編

集中豪雨から身を守りましょう	28
避難するときの注意点	29
洪水ハザードマップ	30

### 自主防災編

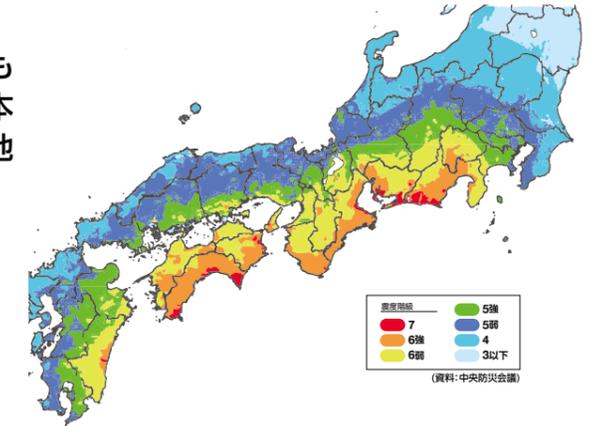
在宅避難のポイント	32
指定避難所について	34
防災情報の入手	35
非常持出品・備蓄品	36
知立市ハザードマップ、防災マップ	裏面ポケット

# 南海トラフで起きる地震とは

～過去の地震は約100～200年の間隔で発生している～

過去1400年間を見ると、約100～200年の間隔で大地震が発生しており、近年発生した昭和東南海地震（1944年）、昭和南海地震（1946年）より80年近くが経過していることから、ひずみの蓄積による大地震の発生が懸念されています。また、駿河湾沖を震源域とする東海地震は、1854年の安政東海地震から160年以上起きていません。

南海トラフ巨大地震は今後30年以内で70～80%の可能性で発生するといわれている地震です。東日本大震災を経験した今、いつ起きてもおかしくない巨大地震に備えることは決して無駄なことではないのです。

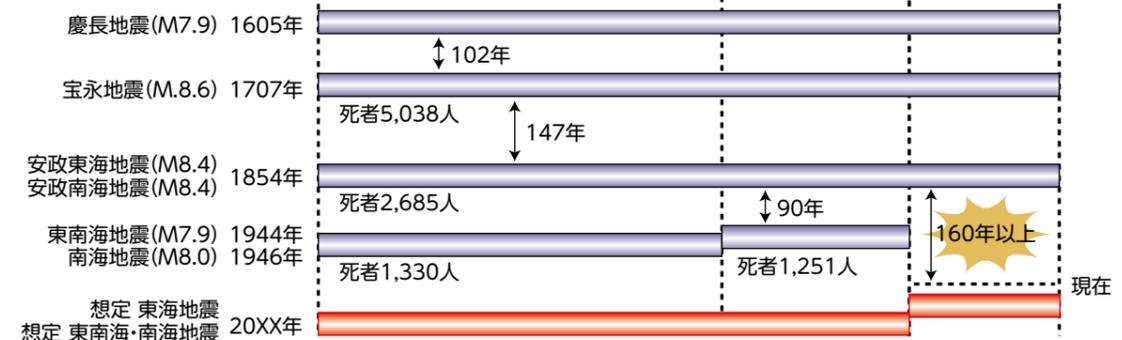


## ●地震の揺れは?

各ケースの最大値を重ね合わせた震度分布を見ると、神奈川県西部から宮崎県にかけての広い範囲で震度6弱以上となっており、都道府県別では震度6強以上が21府県、震度7が10県想定されています。

## ●南海トラフから駿河トラフで過去に起きた地震

過去にこの地域で発生した大地震をみると、慶長地震（1605年）の102年後に宝永地震（1707年）が発生しています。それから147年後の1854年に安政東海地震、安政南海地震が発生しています。それ以降、駿河トラフ周辺では大地震が発生しないまま160年以上が経過しており、いつ地震が起きてもおかしくないと考えられています。



(資料：気象庁ホームページより)

# 南海トラフ巨大地震の被害想定①

～愛知県と知立市の被害想定～

## ●「過去地震最大モデル」と「理論上最大想定モデル」による被害予測

愛知県では、戦後最大の被害をもたらした東日本大震災を教訓として、今後の防災・減災対策に役立てることを目的に、南海トラフで発生するおそれのある巨大地震の被害予測を「過去地震最大モデル」と「理論上最大想定モデル」という2つの想定で公表（2014（平成26）年5月）しています。

南海トラフで発生する地震や津波には多様性があり、予測が困難な面もありますが、巨大地震が起きた場合の県内に与える影響はきわめて大きく、被害想定に応じた防災・減災対策は不可欠です。そして、建物の耐震化、家具等の転倒・落下防止対策、被災時の適切な避難行動といった対策によって、大幅な減災効果が見込めると考えられています。

過去地震最大モデル	理論上最大想定モデル
南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいもの（宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震）を重ね合わせた、県の対策の軸となるモデル。	南海トラフで発生するおそれのある地震・津波のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を想定したもので、発生頻度が低く、主に「命を守る」という観点から補足的に参照するモデル。

## ●「過去地震最大モデル」による主な被害想定

### ■建物被害（全壊・焼失棟数）（冬・夕方18時）

想定地震の区分	愛知県	知立市
揺れによる全壊	約 47,000	約 300
液状化による全壊	約 16,000	—
浸水・津波による全壊	約 8,400	—
急傾斜地崩壊等による全壊	約 600	—
地震火災による焼失	約 23,000	約 200
合計	約 94,000	約 500

※端数処理のため合計が一致しません。

### ■人的被害（死者数）（冬・深夜5時）

想定地震の区分	愛知県	知立市
建物倒壊等による死者（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	約 2,400 (約 200)	約 10
浸水・津波による死者（うち自力脱出困難）	約 3,900 (約 800)	—
（うち逃げ遅れ）	(約 3,100)	—
急傾斜地崩壊等による死者	約 50	—
地震火災による死者	約 90	—
合計	約 6,400	約 10

※端数処理のため合計が一致しません。

## ●「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

### ■建物被害（全壊・焼失棟数）（冬・夕方18時）

想定地震の区分	愛知県	知立市
揺れによる全壊	約 242,000	約 2,800
液状化による全壊	約 16,000	—
浸水・津波による全壊	約 22,000	—
急傾斜地崩壊等による全壊	約 700	—
地震火災による焼失	約 101,000	約 1,500
合計	約 382,000	約 4,300

※端数処理のため合計が一致しません。

### ■人的被害（死者数）（冬・深夜5時）

想定地震の区分	愛知県	知立市
建物倒壊等による死者（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	約 14,000 (約 1,000)	約 100
浸水・津波による死者（うち自力脱出困難）	約 13,000 (約 5,500)	—
（うち逃げ遅れ）	(約 7,100)	—
急傾斜地崩壊等による死者	約 70	—
地震火災による死者	約 2,400	約 30
合計	約 29,000	約 200

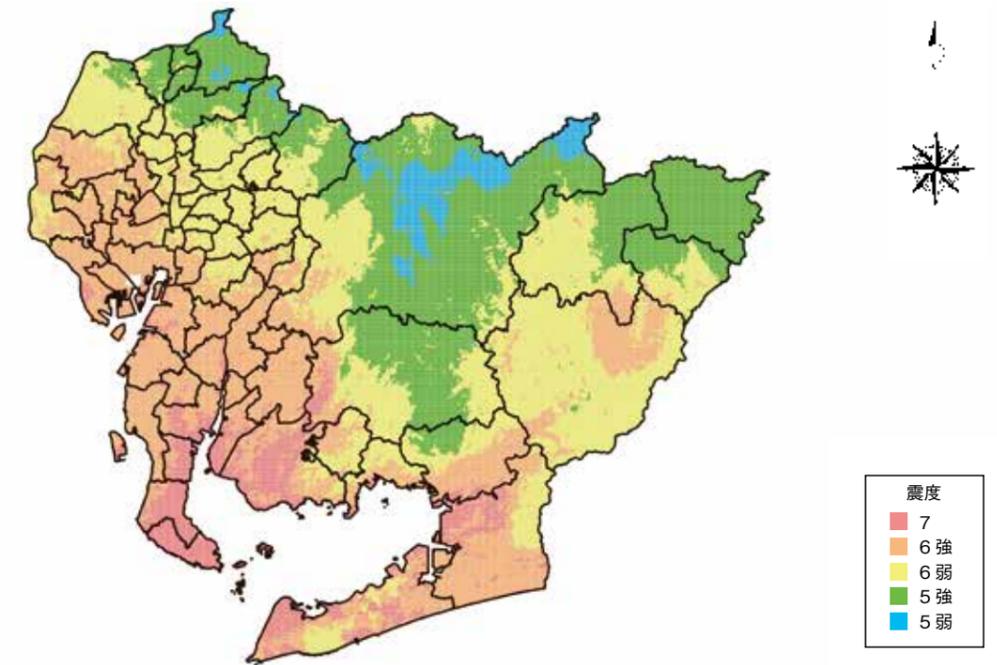
※端数処理のため合計が一致しません。

# 南海トラフ巨大地震の被害想定②

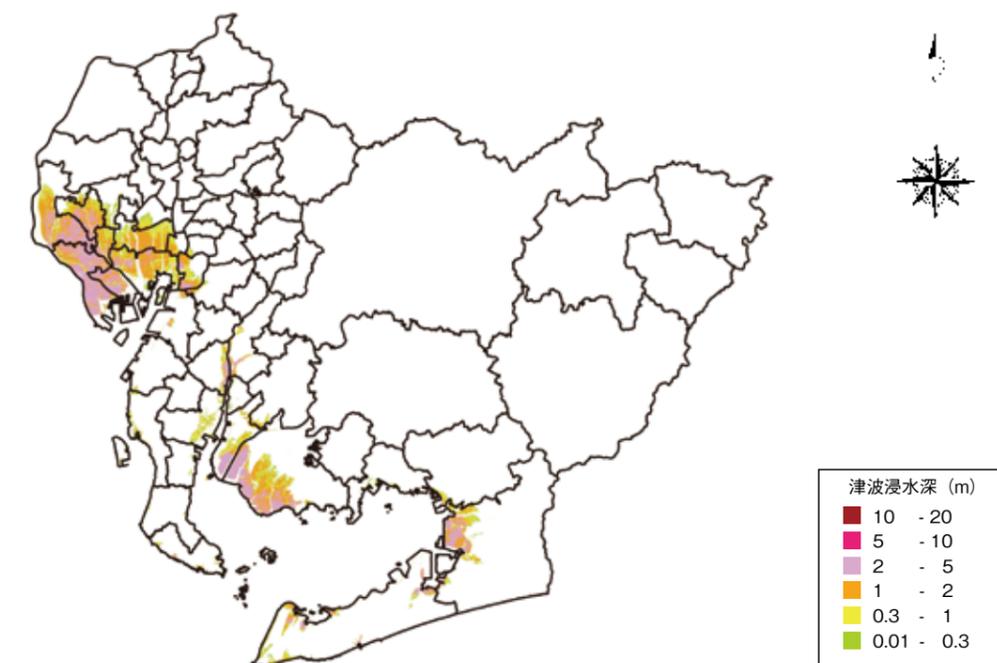
～愛知県の震度分布と津波浸水～

愛知県における「理論上最大想定モデル」の震度分布図と津波浸水図です。想定される規模の地震に対する揺れの大きさ（震度）と、津波による浸水の区域（浸水域）および水深（浸水深）を色分けして示しています。知立市は震度6強から7と強い揺れがありますが、地震による津波の被害はないと予測されています。

## 震度分布図：「理論上最大想定モデル」（陸側ケース）



## 津波浸水図：愛知県東部「理論上最大想定モデル」（津波ケース①）



# 南海トラフ巨大地震の被害想定 ③

～西三河地域の被害想定～

## ▶西三河地域とは

知立市をはじめ岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、高浜市、みよし市、幸田町の「9市1町」により構成されている地域です。

## ●「過去地震最大モデル」による主な被害想定

### ■建物被害 (全壊・焼失棟数) (冬・夕方 18時)

想定地震の区分	9市1町
揺れによる全壊	約 17,800
液状化による全壊	約 690
浸水・津波による全壊	約 2,910
急傾斜地崩壊等による全壊	約 180
地震火災による焼失	約 8,350
<b>合計</b>	<b>約 30,100</b>

※端数処理のため合計が一致しません。

### ■人的被害 (死者数) (冬・深夜 5時)

想定地震の区分	9市1町
建物倒壊等による死者 (うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	約 960 (約 70)
浸水・津波による死者 (うち自力脱出困難、うち逃げ遅れ)	約 1,330 (約 370)
急傾斜地崩壊等による死者	約 20 (約 990)
地震火災による死者	約 50
<b>合計</b>	<b>約 2,390</b>

※端数処理のため合計が一致しません。

## ●「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

### ■建物被害 (全壊・焼失棟数) (冬・夕方 18時)

想定地震の区分	9市1町
揺れによる全壊	約 71,100
液状化による全壊	約 690
浸水・津波による全壊	約 1,280
急傾斜地崩壊等による全壊	約 180
地震火災による焼失	約 29,500
<b>合計</b>	<b>約 103,100</b>

※端数処理のため合計が一致しません。

(出典：愛知県防災会議地震部会「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」2014年5月30日発表)

### ■人的被害 (死者数) (冬・深夜 5時)

想定地震の区分	9市1町
建物倒壊等による死者 (うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	約 3,990 (約 260)
浸水・津波による死者 (うち自力脱出困難、うち逃げ遅れ)	約 2,050 (約 1,230)
急傾斜地崩壊等による死者	約 20 (約 810)
地震火災による死者	約 770
<b>合計</b>	<b>約 6,900</b>

※端数処理のため合計が一致しません。

## ▶知立市と他市町との関係は

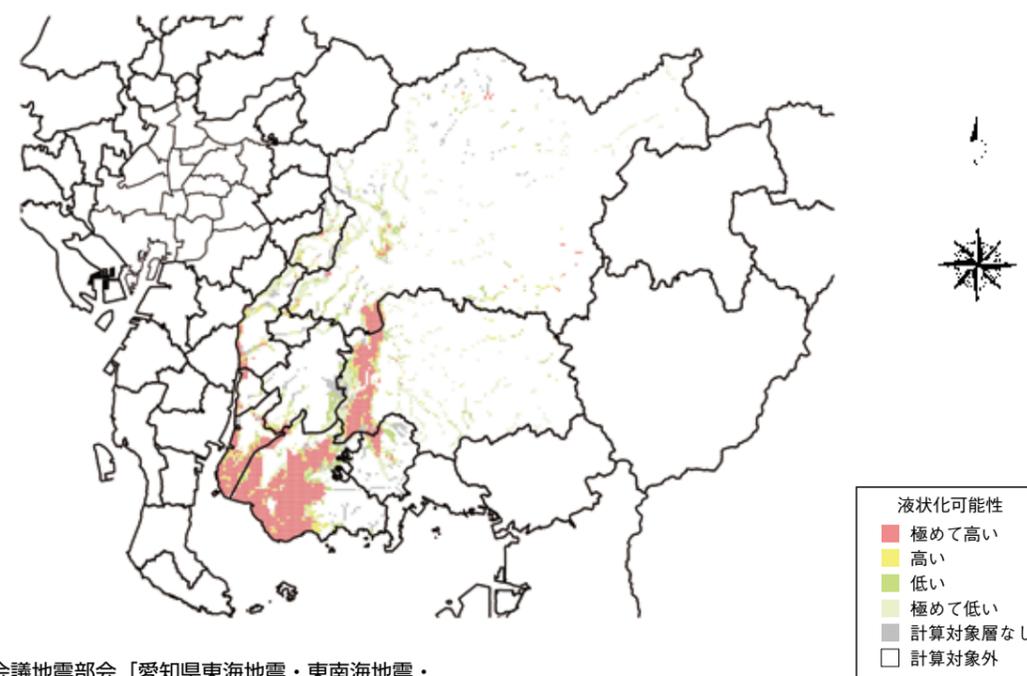
2013年7月に「西三河災害時相互応援協定」を締結し、災害時に資機材、生活必需品、職員の派遣や被災者の受け入れといった相互応援を実施します。災害時には知立市単独ではなく近隣市とも連携を取り合い、災害対応にあたります。

また平常時では9市1町で西三河防災減災連携研究会を設立し、防災対策について研究を行い、西三河地域全体の防災力向上に努めています。

# 南海トラフ巨大地震の被害想定 ④

～西三河地域の液状化分布～

## 液状化危険度分布図：「理論上最大想定モデル」



(出典：愛知県防災会議地震部会「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」2014年5月30日発表)

## ▶液状化のメカニズムと被害

「液状化」とは、地震の揺れによって地盤が液体のようになってしまう現象です。低地や埋め立て地などの地盤には水分（間隙水）が多く含まれています。普段は砂粒が支え合い、その間を水分が満たしている状態で安定していますが、地震の震動が加わることで砂粒の支え合いが崩れ、砂粒の間の水圧が高まって地盤が液状化します。

地盤の液状化が起こると、重い建物などを支えることができなくなり、地盤の沈下や傾斜が起きたり、地中の管路やマンホールなどが浮き上がったりする被害が発生します。

### ■東日本大震災での液状化



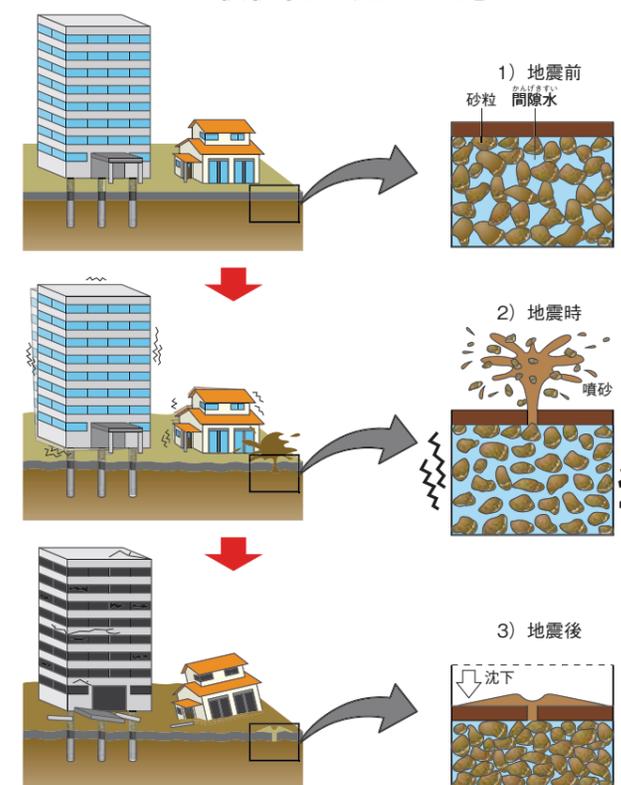
泥に埋まった自動車



地下から浮き出た貯水槽

写真提供：Yahoo!JAPAN 東日本大震災 写真保存プロジェクト 消防庁「防災48」より

### ■液状化の起こり方



(出典：文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課ホームページより)

# 南海トラフ地震臨時情報とは

南海トラフ沿いで大規模地震の発生する危険性が高まったときに、気象庁が発表する情報です。南海トラフ地震臨時情報が出た場合、津波からの避難が間に合わない地域などでは、あらかじめすべての住民が避難の対応を行います。

## 南海トラフ地震臨時情報の発表対象となる異常な現象

南海トラフ沿いで大規模地震の発生が高まったと判断できるケースは、次の3通りです。

**ケース① 半割れ** (大規模地震/被害甚大ケース)

南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界のほぼ半分で、マグニチュード(M) 8.0以上の地震が発生した場合

南海トラフ東側で大規模地震(M8クラス)が発生

西側は運動するの?

世界の事例では、M8.0以上の地震103件のうち、隣接領域で7日以内にM8クラス以上の地震は7件発生しています。

**ケース② 一部割れ** (前震可能性地震/被害限定ケース)

南海トラフ沿いで大規模地震に比べて一回り小さい地震(M7クラス)が発生した場合

南海トラフで地震(M7クラス)が発生

南海トラフの大規模地震の前震か?

世界の事例では、M7.0以上の地震1,437件のうち、同じ領域で7日以内にM8クラス以上の地震は6件発生しています。

**ケース③ ゆっくりすべり** (被害なしケース)

ひずみ計等で有意な変化として捉えられ、プレート境界で通常とは異なるゆっくりとしたすべり現象が観測された場合

ひずみの変化、ひずみ計による(変化を)計測、跳ね上がり(地震発生)、強くくっついてる境界、前兆すべり、引込み(すべり)、プレート境界

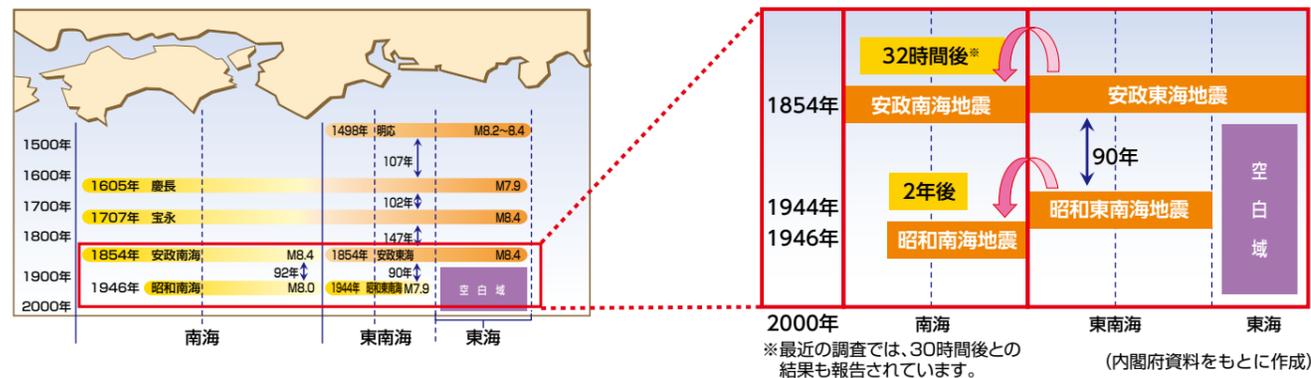
南海トラフでは前例がなく、次に起きる地震との関連がわからないとしています。

(内閣府資料をもとに作成)

**！ 臨時情報が出ないで、巨大地震が突発的に起きることもあります！**

## 最も臨時情報の発表対象となる半割れケースの過去事例

南海トラフの震源域でM8以上の地震(半割れ)が起きた後、残りの震源域で大規模地震が発生した事例は過去にも確認されています。直近2事例は、1944年に「昭和東南海地震」(M7.9)が発生し、約2年後の1946年に「昭和南海地震」(M8.0)が発生して甚大な被害が出ました。もうひとつは、1854年の「安政東海地震」(M8.4)の約32時間後に「安政南海地震」(M8.4)が発生しています。なお、過去2回とは逆に西側から大規模地震が発生するケースも否定できないとしています。



**！ 半割れの巨大地震が発生している地域(東側もしくは西側)では、すでに甚大な被害が発生しています！**

## 南海トラフ地震臨時情報の種類と発表条件

気象庁は、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合等に、「南海トラフ地震臨時情報」や「南海トラフ地震関連解説情報」を発表します。

情報名	キーワード	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	(調査中)	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	(巨大地震警戒)	<b>巨大地震の発生に警戒が必要な場合</b> ※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合
	(巨大地震注意)	<b>巨大地震の発生に注意が必要な場合</b> ※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上M8.0未満の地震や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等
	(調査終了)	(巨大地震警戒)、(巨大地震注意)のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
南海トラフ地震関連解説情報		<ul style="list-style-type: none"> <li>●観測された異常な現象の調査結果を発表した後の<b>状況の推移等</b>を発表する場合</li> <li>●「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合(ただし臨時情報を発表する場合を除く)</li> </ul>

これらの情報は、気象庁ホームページで確認できます。また、臨時の情報が発表された際は、テレビ・ラジオ等で放送され、気象庁ツイッター公式アカウントでも発表します。

※異常な現象が発生せず、情報の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。  
※地震発生の可能性が相対的に高まったと評価した場合でも南海トラフ地震が発生しないこともあります。

## 南海トラフ地震臨時情報発表時の住民がとるべき防災対応

情報が発表されたら、巨大地震の発生に備えて以下のような防災対応をとってください。

「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン(第1版)」の概要(内閣府)より

**日頃からの地震への備えの再確認**

- 避難場所・避難経路の確認
- 家族と安否確認手段の確認
- 家具固定の確認
- 非常持出品の確認

**できるだけ安全な防災活動**

- 高いところに物を置かない
- 屋内のできるだけ安全な場所で生活
- すぐに避難できる準備(非常持出品等)
- 危険なとこにできるだけ近づかない など

(資料:気象庁ホームページより)

## ○「過去地震最大モデル」による主な被害想定

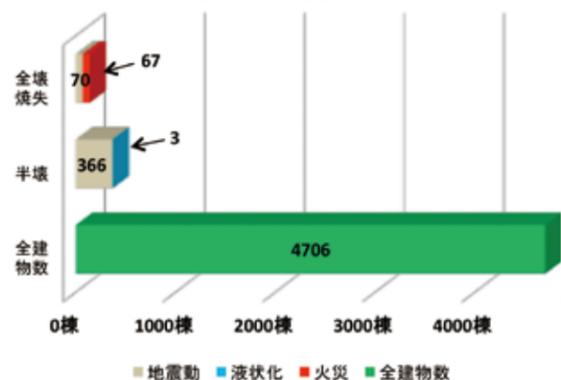
建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 4,706 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	70	366
液状化	*	3
急傾斜地	—	—
火災	67	—
建物被害総数	138 (2.9%)	369 (7.8%)

人的被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の夕方人口 14,444 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	2	10	42
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	*	(1)	(9)
急傾斜地崩壊	—	—	—
火災	2	1	3
被害者数合計	4 (0.03%)	12 (0.08%)	46 (0.32%)

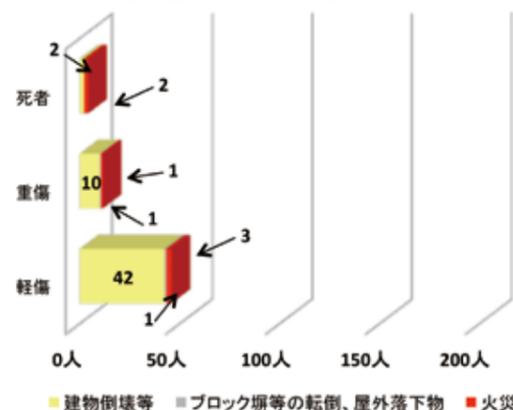
単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

### ● 校区内の建物被害 (過去地震最大モデル)



### ● 校区内の人的被害予測 (過去地震最大モデル)



## ○「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

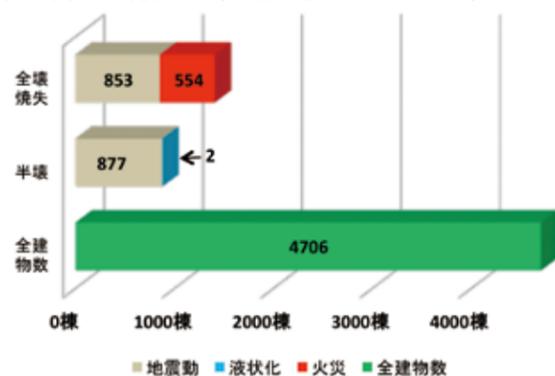
建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 4,706 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	853	877
液状化	*	2
急傾斜地	—	—
火災	554	—
建物被害総数	1,407 (29.9%)	879 (18.7%)

人的被害【冬・深夜発災】 ※（ ）内は、校区の深夜人口 14,867 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	47	80	211
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	(4)	(20)	(74)
急傾斜地崩壊	—	—	—
火災	13	4	10
被害者数合計	61 (0.41%)	83 (0.56%)	222 (1.49%)

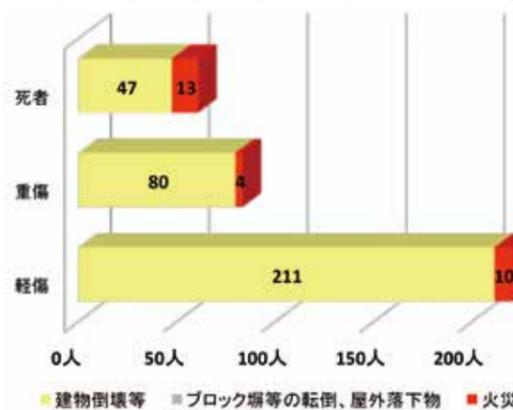
単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

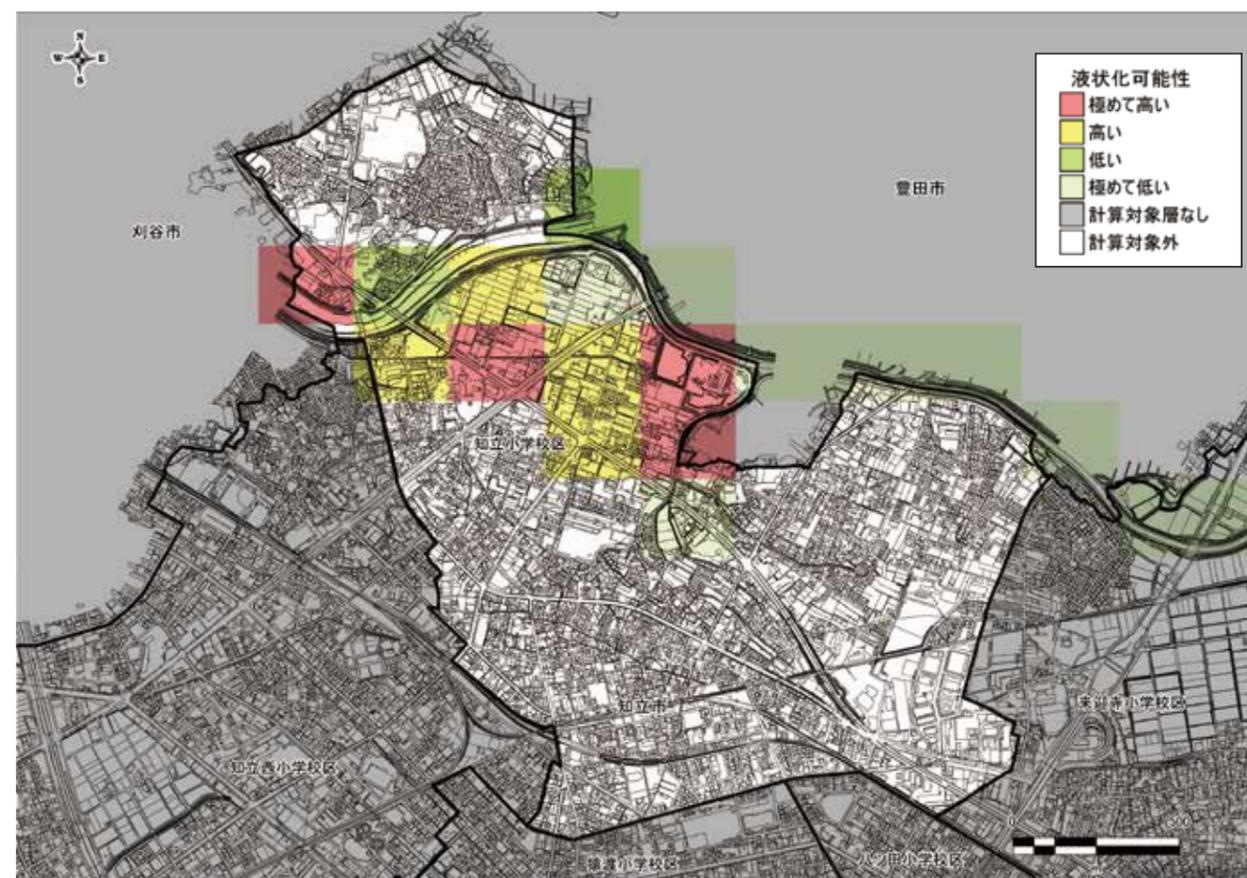
### ● 校区内の建物被害 (理論上最大想定モデル)



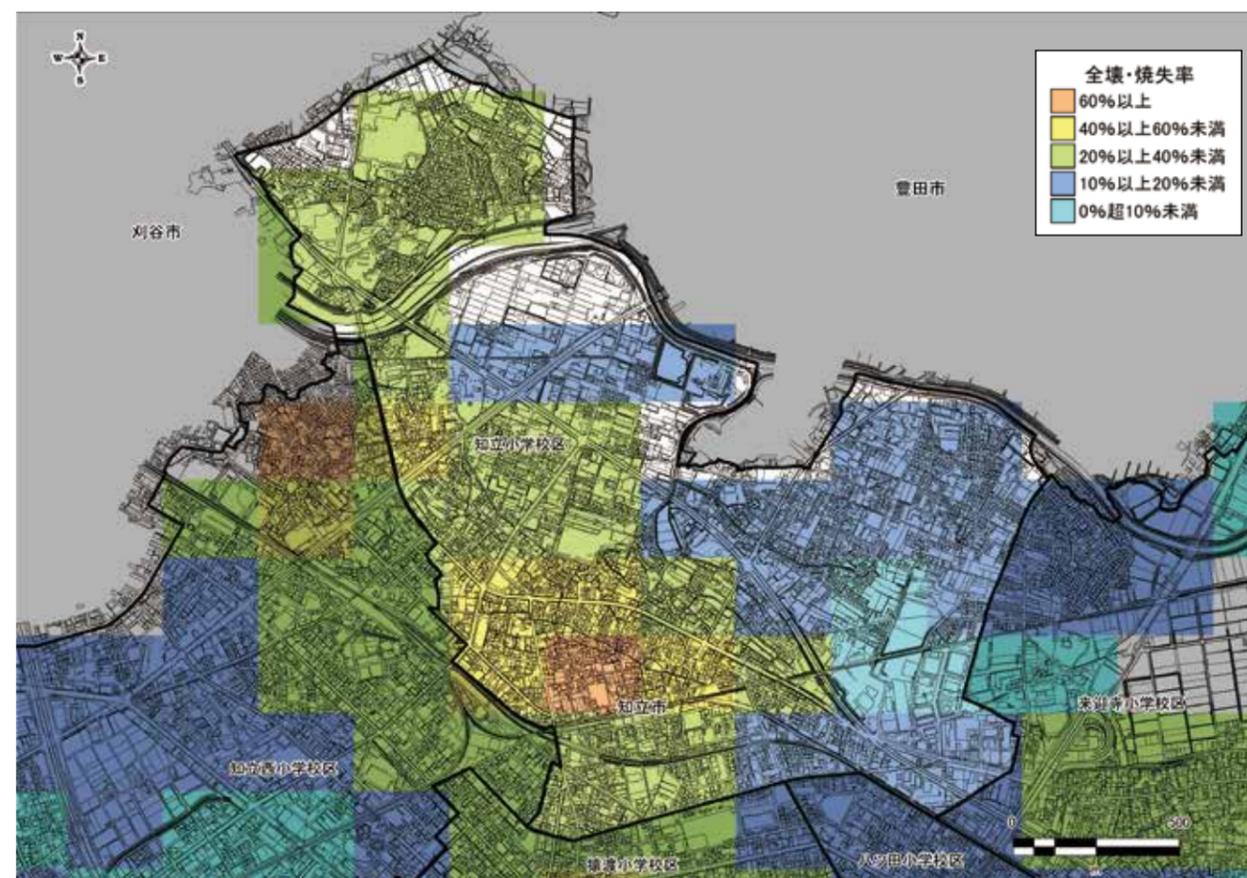
### ● 校区内の人的被害予測 (理論上最大想定モデル)



## ○液状化危険度分布図：「理論上最大想定モデル」



## ○全壊焼失率分布図：「理論上最大想定モデル」

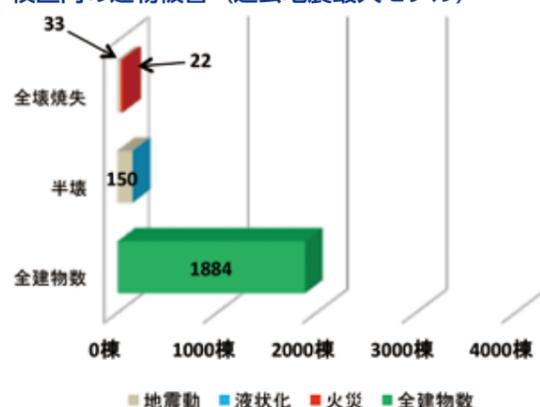


## ○「過去地震最大モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 1,884 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	33	150
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	22	—
建物被害総数	56 (3.0%)	150 (8.0%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

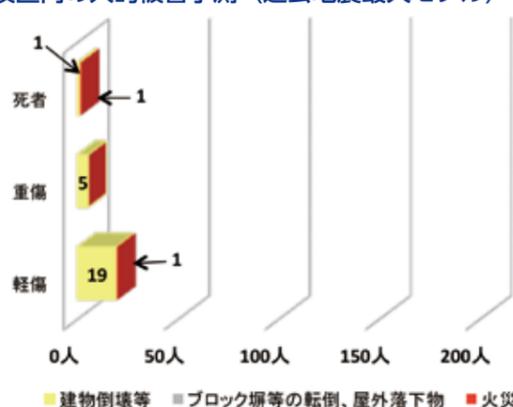
### ● 校区内の建物被害（過去地震最大モデル）



人的被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の夕方人口 7,701 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	1	5	19
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	*	(1)	(4)
急傾斜地崩壊	*	*	*
火災	1	—	—
被害者数合計	2 (0.02%)	6 (0.08%)	21 (0.27%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

### ● 校区内の人的被害予測（過去地震最大モデル）

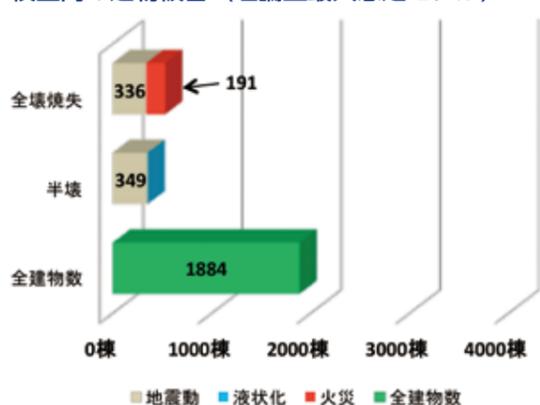


## ○「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 1,884 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	336	349
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	191	—
建物被害総数	527 (28.0%)	349 (18.5%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

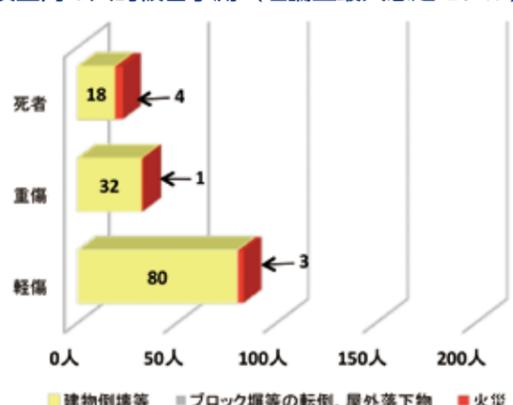
### ● 校区内の建物被害（理論上最大想定モデル）



人的被害【冬・深夜発災】 ※（ ）内は、校区の深夜人口 7,033 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	18	32	80
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	(2)	(8)	(28)
急傾斜地崩壊	*	*	*
火災	4	1	3
被害者数合計	23 (0.32%)	33 (0.47%)	83 (1.19%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

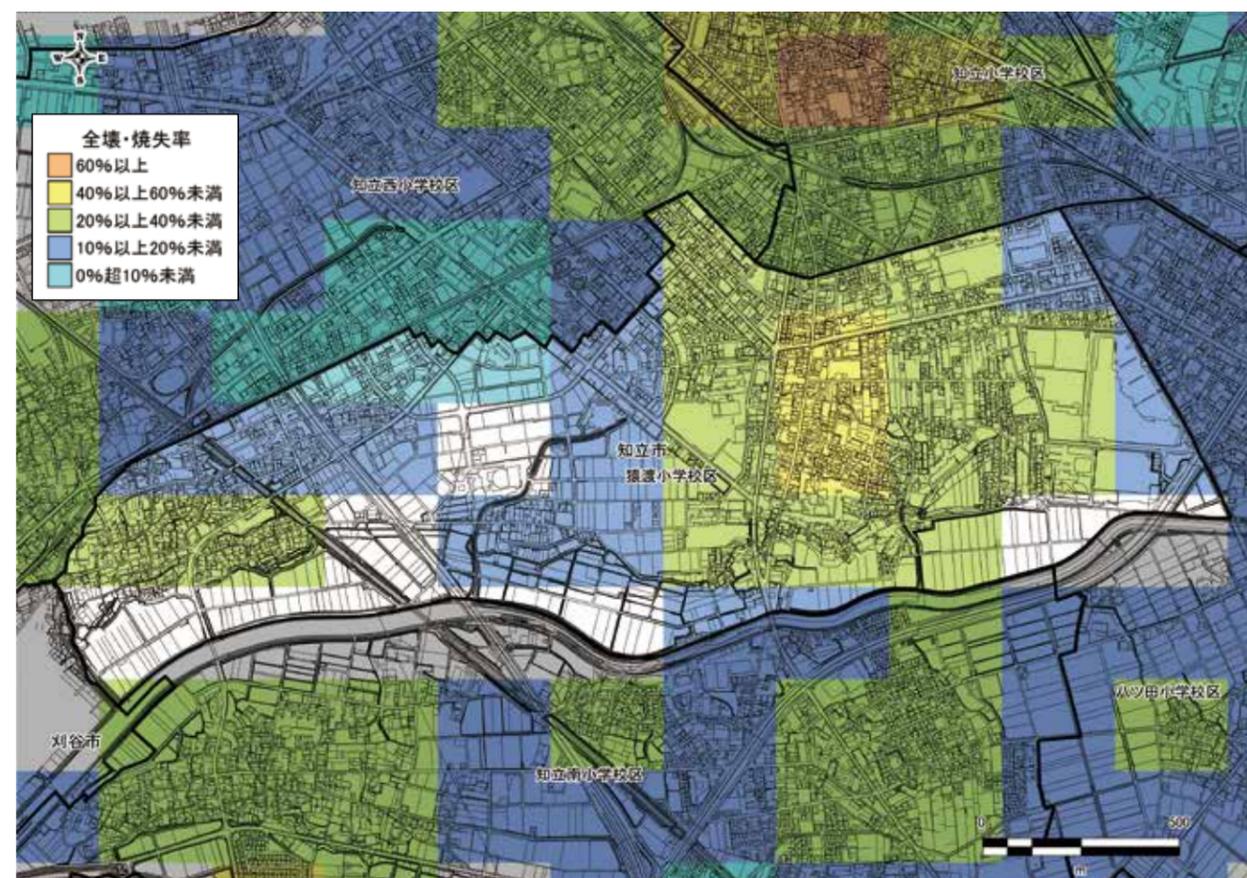
### ● 校区内の人的被害予測（理論上最大想定モデル）



## ○液状化危険度分布図：「理論上最大想定モデル」



## ○全壊焼失率分布図：「理論上最大想定モデル」

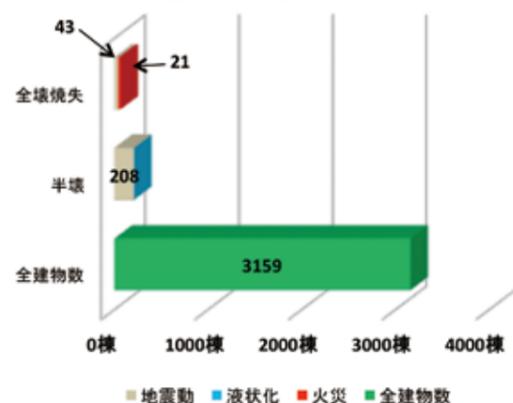


## ○「過去地震最大モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 3,159 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	43	208
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	21	—
建物被害総数	64 (2.0%)	208 (6.6%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

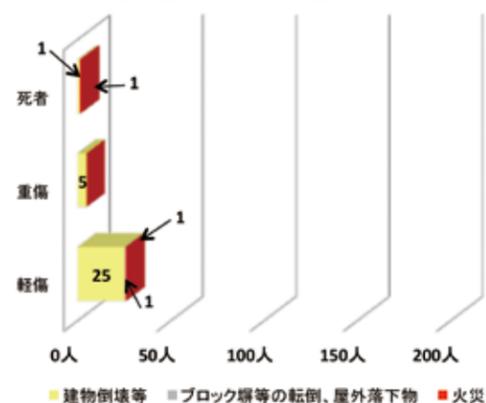
### ● 校区内の建物被害（過去地震最大モデル）



人的被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の夕方人口 7,567 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・屋内落下物)	1	5	25
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	*	(1)	(5)
急傾斜地崩壊	*	*	1
火災	1	—	—
被害者数合計	2 (0.02%)	5 (0.07%)	26 (0.35%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

### ● 校区内の人的被害予測（過去地震最大モデル）



## ○「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 3,159 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	346	559
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	167	—
建物被害総数	513 (16.2%)	559 (17.7%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

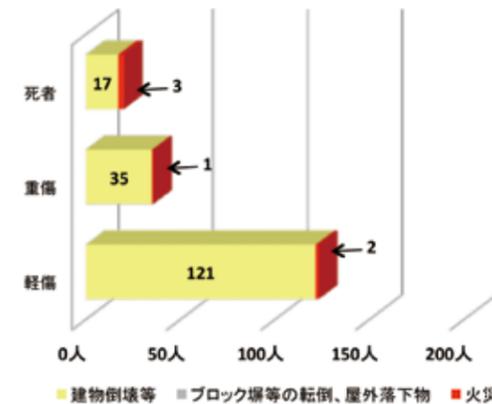
### ● 校区内の建物被害（理論上最大想定モデル）



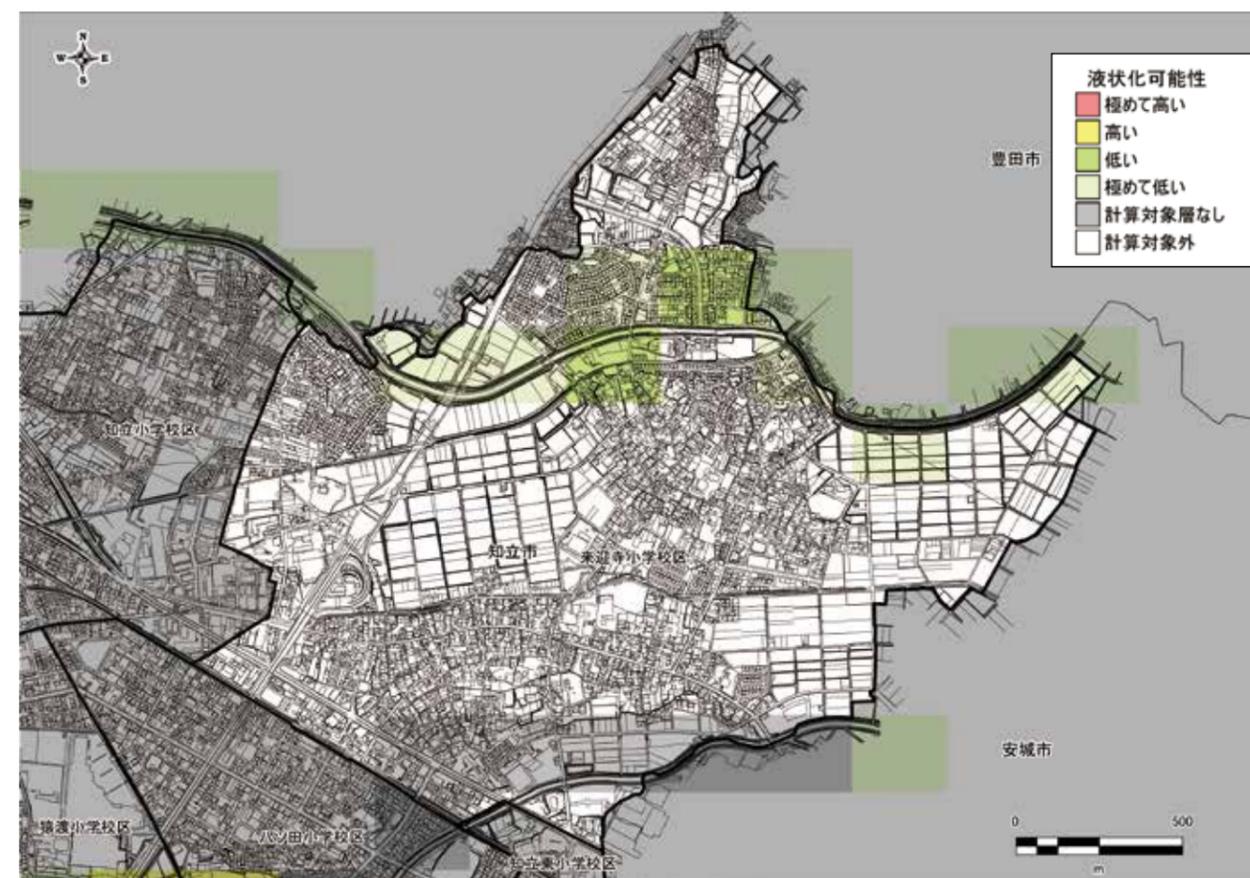
人的被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の夕方人口 8,744 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・屋内落下物)	17	35	121
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	(2)	(9)	(42)
急傾斜地崩壊	*	*	*
火災	3	1	2
被害者数合計	20 (0.23%)	36 (0.41%)	123 (1.41%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

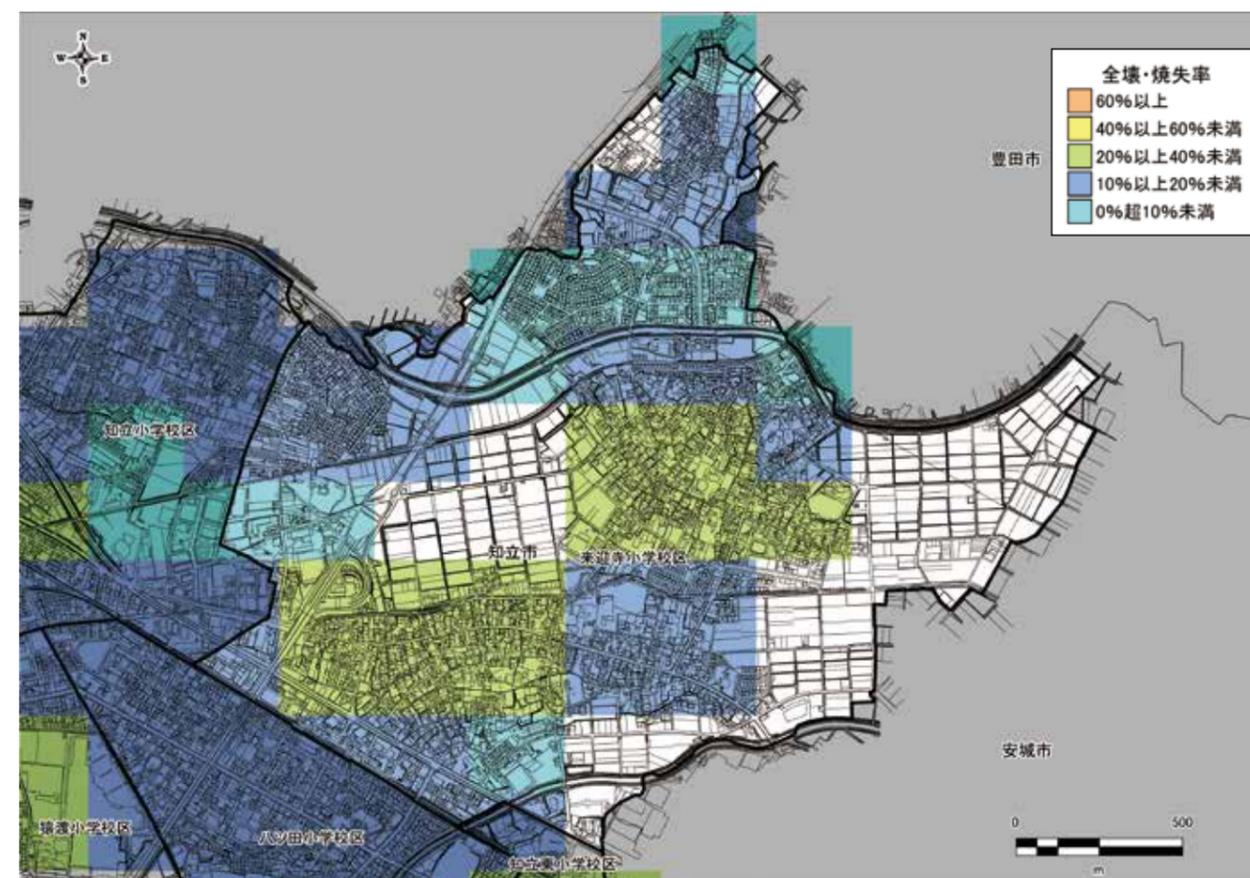
### ● 校区内の人的被害予測（理論上最大想定モデル）



## ○液状化危険度分布図：「理論上最大想定モデル」



## ○全壊焼失率分布図：「理論上最大想定モデル」

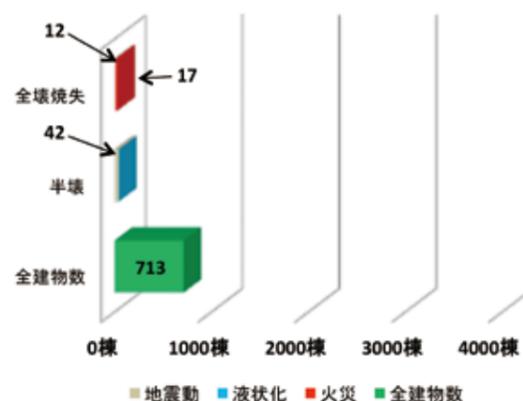


## ○「過去地震最大モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 713 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	12	42
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	17	—
建物被害総数	28 (4.0%)	42 (5.9%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

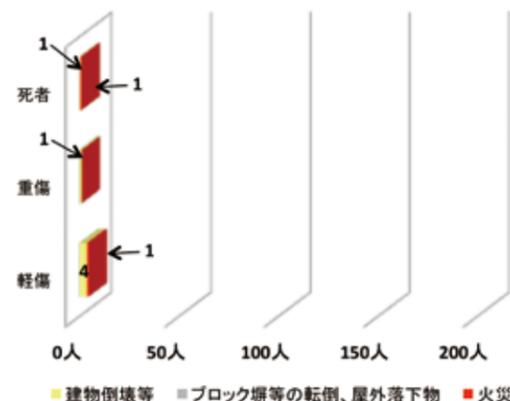
### ● 校区内の建物被害（過去地震最大モデル）



人的被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の夕方人口 4,574 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	1	1	4
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	*	*	(1)
急傾斜地崩壊	—	—	—
火災	1	*	1
被害者数合計	1 (0.02%)	2 (0.04%)	5 (0.11%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

### ● 校区内の人的被害予測（過去地震最大モデル）

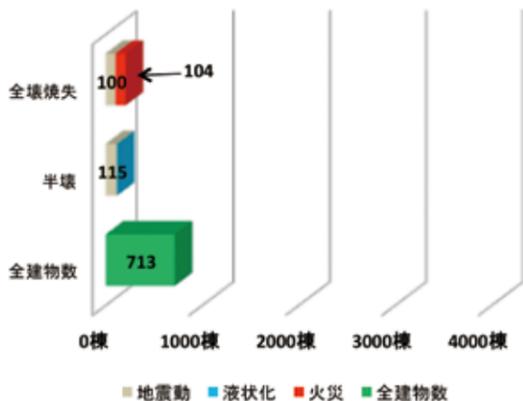


## ○「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 713 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	100	115
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	104	—
建物被害総数	204 (28.6%)	115 (16.1%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

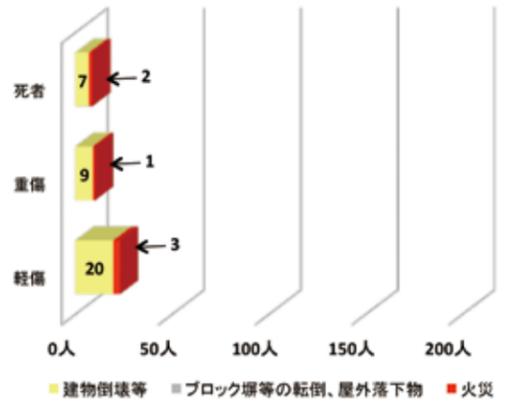
### ● 校区内の建物被害（理論上最大想定モデル）



人的被害【冬・深夜発災】 ※（ ）内は、校区の深夜人口 6,539 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	7	9	20
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	(1)	(2)	(7)
急傾斜地崩壊	—	—	—
火災	2	1	3
被害者数合計	9 (0.13%)	10 (0.16%)	23 (0.35%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

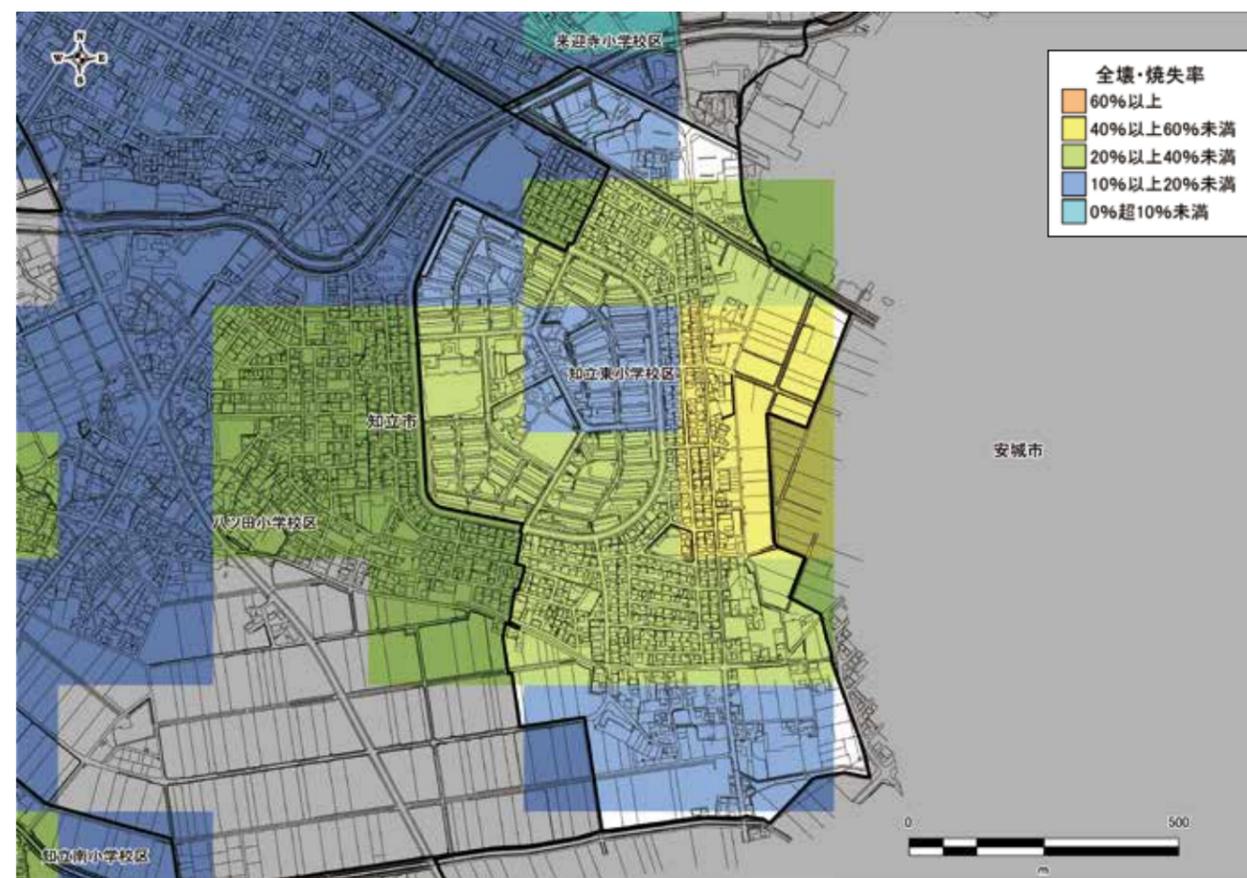
### ● 校区内の人的被害予測（理論上最大想定モデル）



## ○液状化危険度分布図：「理論上最大想定モデル」



## ○全壊焼失率分布図：「理論上最大想定モデル」

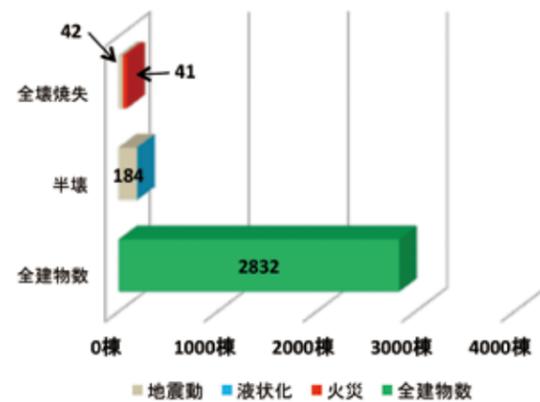


## ○「過去地震最大モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 2,832 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	42	184
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	41	—
建物被害総数	83 (2.9%)	184 (6.5%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

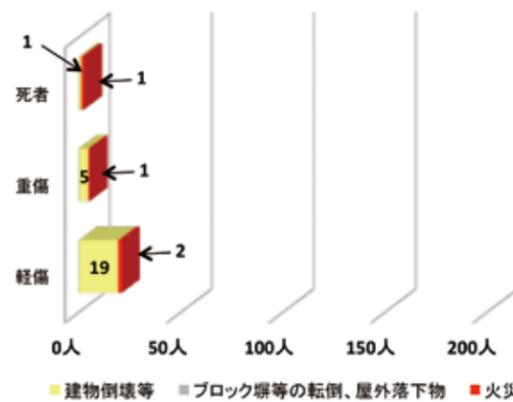
### ● 校区内の建物被害（過去地震最大モデル）



人的被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の夕方人口 12,181 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	1	5	19
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	*	(1)	(4)
急傾斜地崩壊	*	*	*
火災	1	1	2
被害者数合計	3 (0.02%)	6 (0.05%)	22 (0.18%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

### ● 校区内の人的被害予測（過去地震最大モデル）

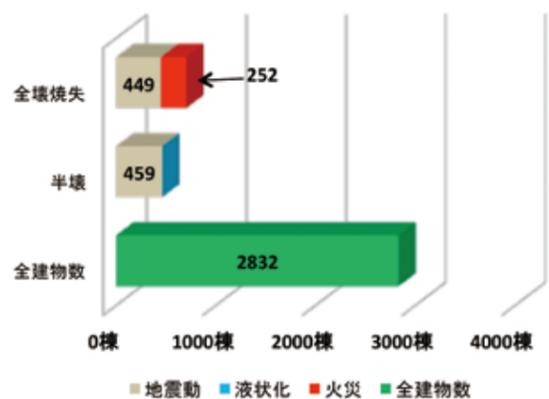


## ○「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 2,832 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	449	459
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	252	—
建物被害総数	701 (24.7%)	459 (16.2%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

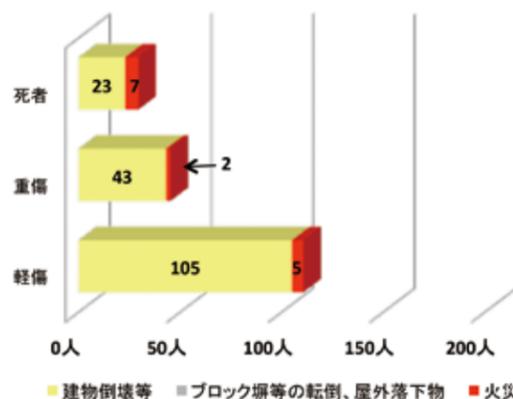
### ● 校区内の建物被害（理論上最大想定モデル）



人的被害【冬・深夜発災】 ※（ ）内は、校区の深夜人口 12,745 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	23	43	105
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	(2)	(11)	(37)
急傾斜地崩壊	*	*	*
火災	7	2	5
被害者数合計	29 (0.23%)	45 (0.35%)	111 (0.87%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

### ● 校区内の人的被害予測（理論上最大想定モデル）



## ○液状化危険度分布図：「理論上最大想定モデル」



## ○全壊焼失率分布図：「理論上最大想定モデル」

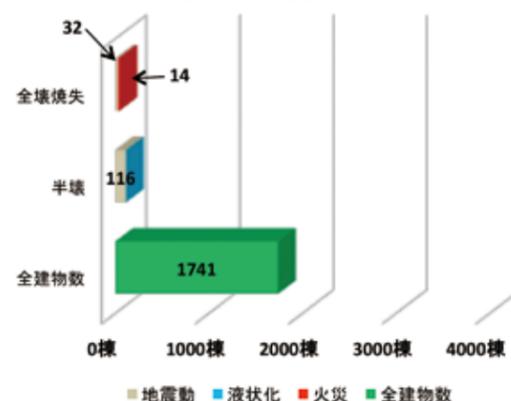


## ○「過去地震最大モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 1,741 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	32	116
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	14	—
建物被害総数	46 (2.6%)	116 (6.7%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

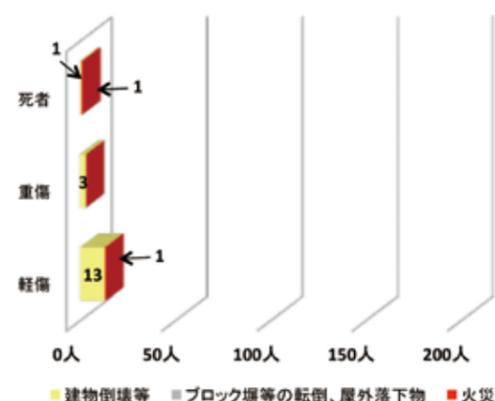
### ● 校区内の建物被害（過去地震最大モデル）



人的被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の夕方人口 5,811 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	1	3	13
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	*	*	(3)
急傾斜地崩壊	—	—	—
火災	1	*	1
被害者数合計	1 (0.02%)	3 (0.06%)	14 (0.24%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

### ● 校区内の人的被害予測（過去地震最大モデル）

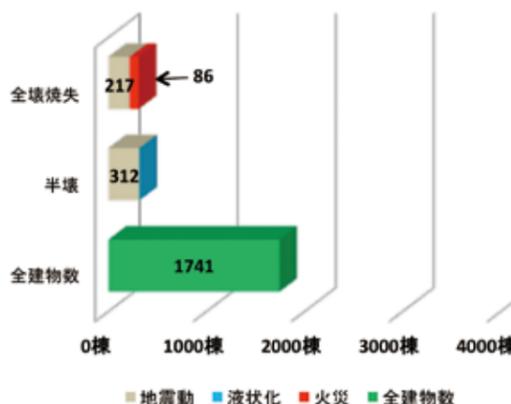


## ○「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 1,741 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	217	312
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	86	—
建物被害総数	303 (17.4%)	312 (17.9%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

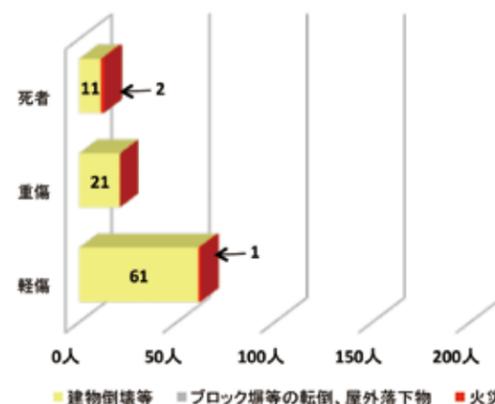
### ● 校区内の建物被害（理論上最大想定モデル）



人的被害【冬・深夜発災】 ※（ ）内は、校区の深夜人口 7,271 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	11	21	61
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	(1)	(5)	(21)
急傾斜地崩壊	*	*	*
火災	2	*	1
被害者数合計	13 (0.17%)	21 (0.29%)	62 (0.85%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

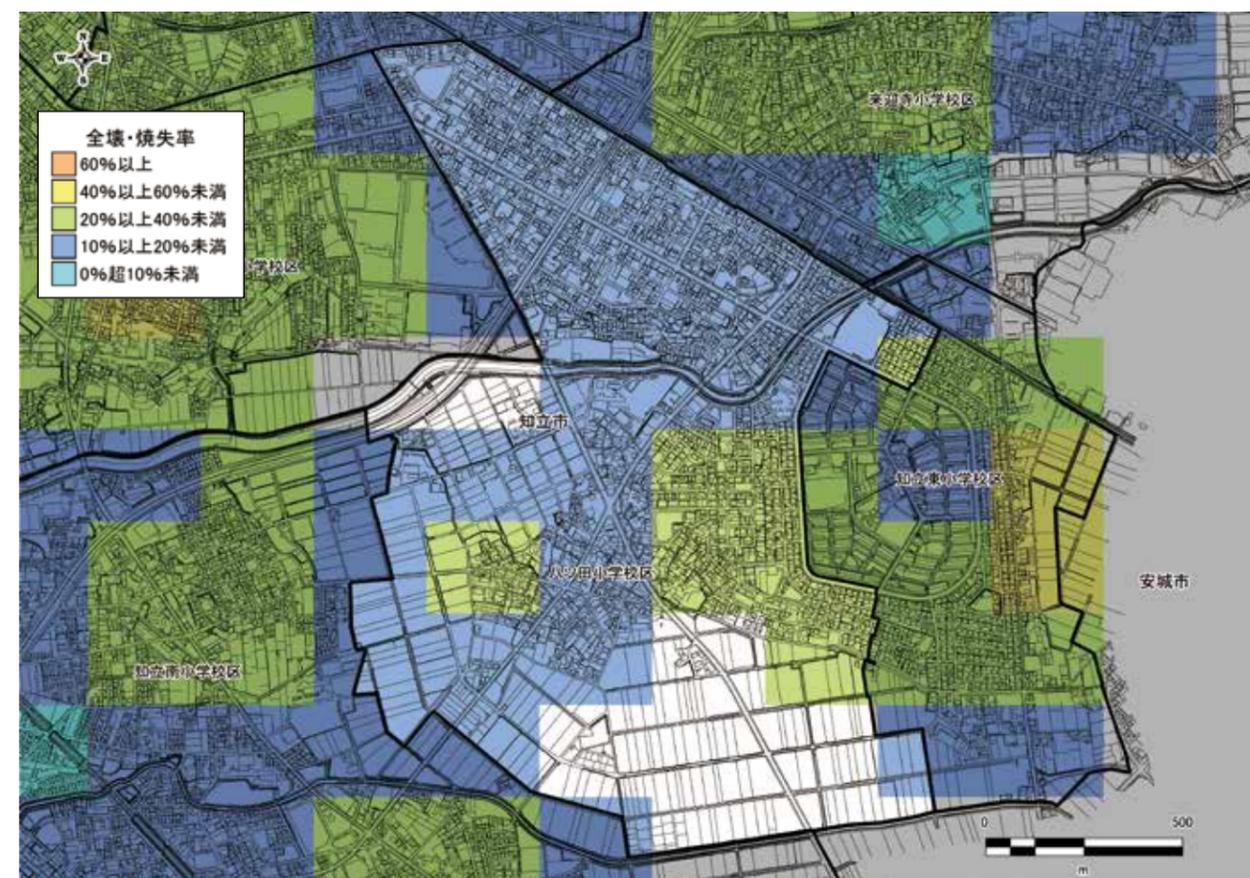
### ● 校区内の人的被害予測（理論上最大想定モデル）



## ○液状化危険度分布図：「理論上最大想定モデル」



## ○全壊焼失率分布図：「理論上最大想定モデル」

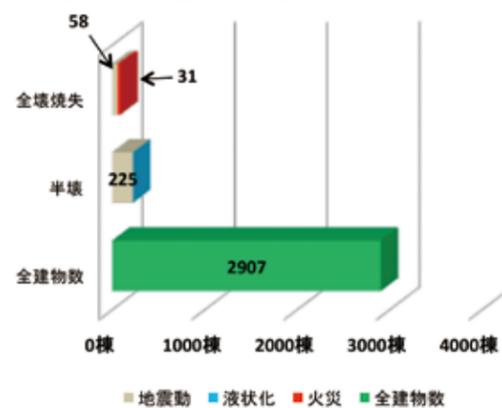


## ○「過去地震最大モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 2,907 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	58	225
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	31	—
建物被害総数	89 (3.1%)	225 (7.7%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

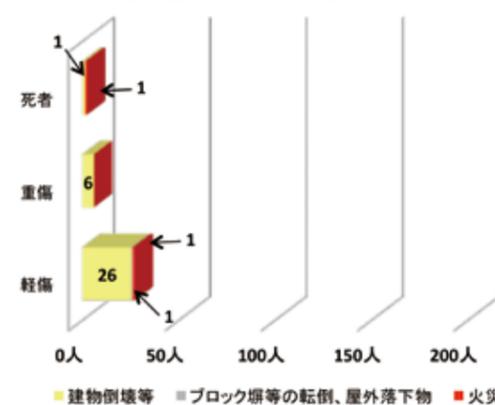
### ● 校区内の建物被害（過去地震最大モデル）



人的被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の夕方人口 8,739 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	1	6	26
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	*	(1)	(6)
急傾斜地崩壊	*	*	1
火災	1	—	—
被害者数合計	3 (0.03%)	7 (0.08%)	27 (0.31%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

### ● 校区内の人的被害予測（過去地震最大モデル）

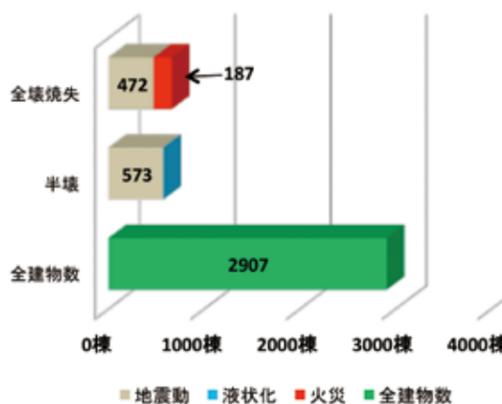


## ○「理論上最大想定モデル」による主な被害想定

建物被害【冬・夕方発災】 ※（ ）内は、校区の建物棟数 2,907 棟に対する割合		
	全壊・焼失	半壊
地震動	472	573
液状化	*	*
急傾斜地	—	—
火災	187	—
建物被害総数	659 (22.7%)	573 (19.7%)

単位：(棟)  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

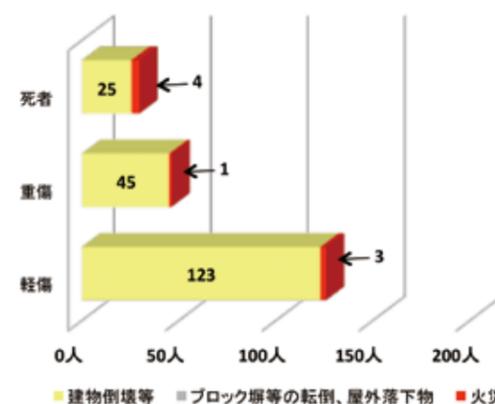
### ● 校区内の建物被害（理論上最大想定モデル）



人的被害【冬・深夜発災】 ※（ ）内は、校区の深夜人口 10,728 人に対する割合			
	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	25	45	123
ブロック塀等の転倒、 屋外落下物	(2)	(12)	(43)
急傾斜地崩壊	*	*	*
火災	4	1	3
被害者数合計	30 (0.28%)	46 (0.43%)	126 (1.17%)

単位：(人) \*：わずか —：該当なし  
四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります。

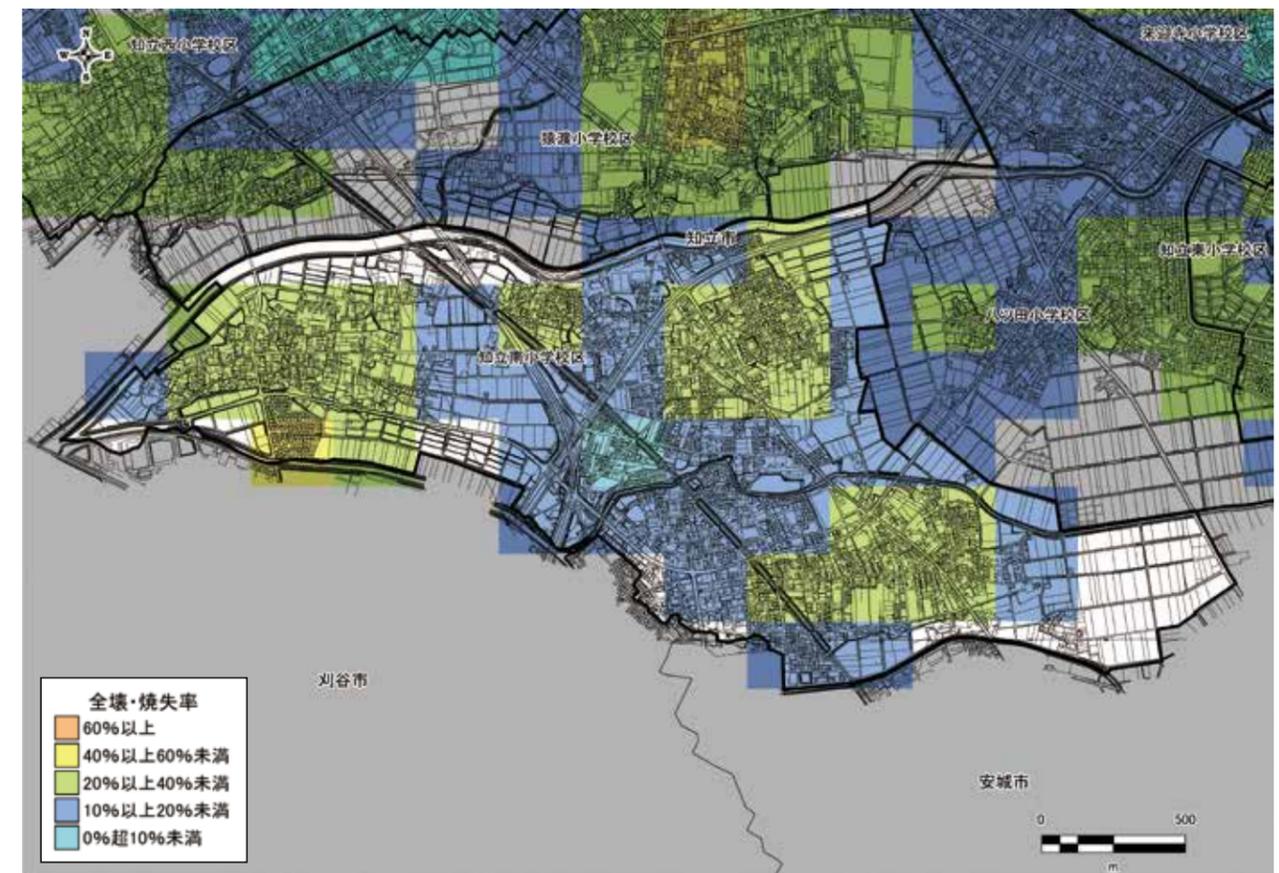
### ● 校区内の人的被害予測（理論上最大想定モデル）



## ○液状化危険度分布図：「理論上最大想定モデル」



## ○全壊焼失率分布図：「理論上最大想定モデル」



# 地震が起きたらどうするか？

大きな地震が発生したら、冷静に対応するのは難しいものです。しかし、一瞬の判断によって生死を分けることもあります。地震が起きても「あわてず、落ち着いて」行動するために、以下の行動パターンを覚えておきましょう。



**緊急地震速報**

強い揺れ（震度5弱以上）の発生が予想される場合、テレビ・ラジオ等から「強い揺れ」が来ることを知らせてくれます。また、愛知県西部にて震度4以上の揺れが予想される場合も同様に流れます。知立市では緊急地震速報にあわせて、同報無線及び防災ラジオからも揺れに対して広報を行います。速報が流れたら、身を守る行動をとってください。

## 命を守る時間（0～2分）

- 姿勢を低くし、頭を守り、じっとする（シェイクアウトの姿勢）
- 1～2分程の揺れが想定されるため、それまでは命を守ることに全力を尽くしましょう（高い建物にいと大きくゆっくりとした揺れが数分続くことがあります。）



## 二次災害を防ぐ時間（2～10分）

- 余震に注意し、火の始末、ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを落とす。出火していたら小さい火のうちに初期消火
- 屋内でも靴を履き、出口の確保
- 家族の安否確認（災害用伝言ダイヤル等）
- テレビ・スマートフォン・ラジオなどで地震情報を確認
- 家の安全確認（被害拡大のおそれがあれば避難所へ移動）



## まちを守る時間（10分～半日）

- 隣近所の安否を確認（無事な家は「わが家は無事です」といった安否札を玄関に掲出）
- 各自主防災会等で集まり、障がいのある人や一人暮らしの高齢者など要配慮者の安否を確認
- 生き埋めや負傷者がいれば協力しあって救助
- 安全な場所への避難誘導（ブロック塀等の倒壊の恐れのある場所には近づかない）



## 生活を守る時間（半日～3日）

- 電気、ガス、水道等のライフラインが止まるため、備蓄品で生活（電気やガスが復旧しても業者の点検を受けてから使用しましょう）
- 避難所では地域単位で集まり、地域みんなで支えあいましょう
- 流言（うわさ話、デマ）に気をつけ、行政やラジオ等からの正確な情報を入手しましょう
- 緊急通行車両の妨げになるため、車の使用は控えましょう



## そのとき〇〇にいたら？

### ●家の中

- ・大きな揺れを感じたら、テーブルの下に隠れ、身を守ることを最優先に。
- ・無理をして火を消そうとしない。
- ・はだしで歩き回らない（ガラスの破片などでけがをする）。
- ・乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全確保を。



### ●エレベーターの中

- ・地震時管制運転装置がついているエレベーターは、自動的に最寄りの階に停止するので、停止した階で降りる。装置がついていなければ、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出る。
- ・閉じ込められたとき、非常ボタンやインターホンで連絡をとり、救出を待つ。



### ●デパート・スーパー

- ・ショーケースの転倒、商品の落下、ガラスの破片に注意を。衣類や手荷物で頭を守る。
- ・店員の指示に従って落ち着いて行動する。



### ●路上

- ・ブロック塀や自動販売機などから離れる。
- ・倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。
- ・繁華街などでは落下物に注意する。
- ・頭をかばんなどで保護して、空き地や近くの公園などに避難する。



### ●電車などの車内

- ・将棋倒しや網棚からの落下物に注意し、つり革や手すりにしっかりつかまる。
- ・座っているときは、足をふんばって上体を前かがみに。雑誌やカバンなどで頭を保護する。
- ・勝手に降車せず、乗務員の指示に従って落ち着いた行動を。



### ●車を運転中

- ・徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車する。
- ・揺れがおさまるまで車外には出ず、カーラジオなどで情報を収集する。



- ・避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難を。

### 「災害時帰宅支援ステーション」を活用しましょう！

災害のとき徒歩で帰宅する人を支援するため、公共施設や郵便局、コンビニエンスストア、ファストフード店、ガソリンスタンド、ファミリーレストランなどが「災害時帰宅支援ステーション」として飲料水やトイレ、地図やラジオによる情報などを提供する役割を担います。

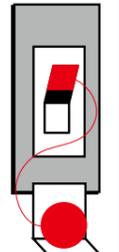
災害時帰宅支援ステーションに貼られているステッカーを目印に



※ほかのタイプのステッカーもあります。

### 通電火災など二次災害に備える「感震ブレーカー」とは？

地震でいったん停電した電力が復旧する際、電気器具や配線の損傷によって起こる火災を「通電火災」といい、このような電気火災が大規模な二次災害の要因となっています。そこで、大きな揺れを感知して電気を自動的に遮断する「感震ブレーカー」が注目されています。



簡易タイプ	おもりの落下やバネの作動によりブレーカーを操作、遮断する。
コンセントタイプ	センサーが揺れを感知し、コンセントの電気を遮断する。
分電盤タイプ	センサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断する。

## 1 建物の耐震化

阪神・淡路大震災では、死者 6,438 人のうち 8 割以上が建物の倒壊による圧死や窒息死でした。特に旧耐震基準（1981（昭和 56）年以前の基準）の建物への被害は甚大なものでした。地震による建物被害をなくすために、旧耐震基準の建物を耐震化する必要があります。知立市では、耐震改修促進計画（2021-2030）を策定し、耐震化を推進しています。

### ■阪神・淡路大震災における住家被害

全壊	104,906 棟
	186,175 世帯
半壊	144,274 棟
	274,182 世帯
一部破損	390,506 棟
合計	639,686 棟

消防庁「阪神・淡路大震災について（確定報、2006（平成18）年5月19日）より



（提供：神戸新聞社）

### 知立市の耐震改修促進計画（2021-2030）

住宅、多数の者が利用する建築物、危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物及び地震発生時に通行を確保すべき道路沿道の建築物のそれぞれについて、耐震診断・耐震化の目標を定めています。

#### ▶ 目標（住宅の場合）

戸建て住宅、長屋、共同住宅（賃貸・分譲）など、全ての住宅が対象です。

#### 耐震診断



#### 耐震化率



#### 耐震化支援事業

知立市では、住宅の耐震化にあたり、右記のような耐震診断や耐震改修等について支援を行っています。くわしくは建築課までお問い合わせください。

- ◆耐震診断：木造、非木造
- ◆耐震改修：木造、非木造
- ◆解体：木造
- ◆その他：耐震シェルター、防災ベッド、ブロック塀等撤去、多世代住宅

お問い合わせ 市役所 建築課 電話：0566-95-0128

## 2 家具の固定

阪神・淡路大震災では、多くの人が倒れてきた家具の下敷きになってけがをしたり、尊い命を失ったりしました。家具の転倒や落下は、避難経路をふさいで、いざというときの避難が遅れることにもつながります。各家庭でできる家具の固定を必ず行ってください。

### 家具を固定するポイント

#### たんす・本棚

L字金具などを使って柱や壁、鴨居に固定する。上下2段になっているたんすは金具で上下を連結する。



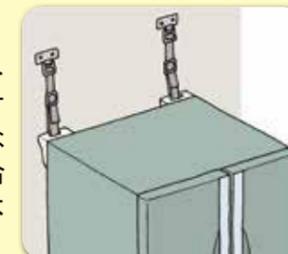
#### 食器棚

扉に開放防止のための金具を取り付ける。中の食器が飛び出さないように、棚板に滑り止めシートを敷くか、食器の手前に飛び出し防止枠を設ける。



#### 冷蔵庫

背部の取っ手にベルトをかけて柱などに固定する。製品専用のベルトなどが用意されている場合も多い。取扱説明書をよく読んで活用する。



#### テレビ

製品付属のベルトでテレビ台に固定するか、ヒートンとひもで柱などに固定する。さらに耐震粘着マットを敷くと、揺れへの抵抗力が高まる。



### 転倒防止器具の利用の注意点

- 十分な強度を得るため、金具は間柱など壁の下地材に取り付ける。
- 間柱と金具の位置が合わない場合に補助板で調整した例。
- 壁にネジ止めできない場合、突っ張り棒タイプの転倒防止器具を設置する。天井との間に補助板を挟み、天井に面で力が加わるようにする。

#### 家具転倒防止推進事業

知立市では、家具転倒による人的被害を最小限に抑えるために、家具の転倒防止器具を無料で配布しています。また、高齢者など器具の取り付けが困難な人に対しては、無料で取り付け支援も行っています。くわしくは安心安全課までお問い合わせください。

#### <配布器具の種類>

- ◆ボール式
- ◆L型金具
- ◆ベルト式
- ◆チェーン式

お問い合わせ 市役所 安心安全課 電話：0566-95-0160

# 建物倒壊危険度マップ

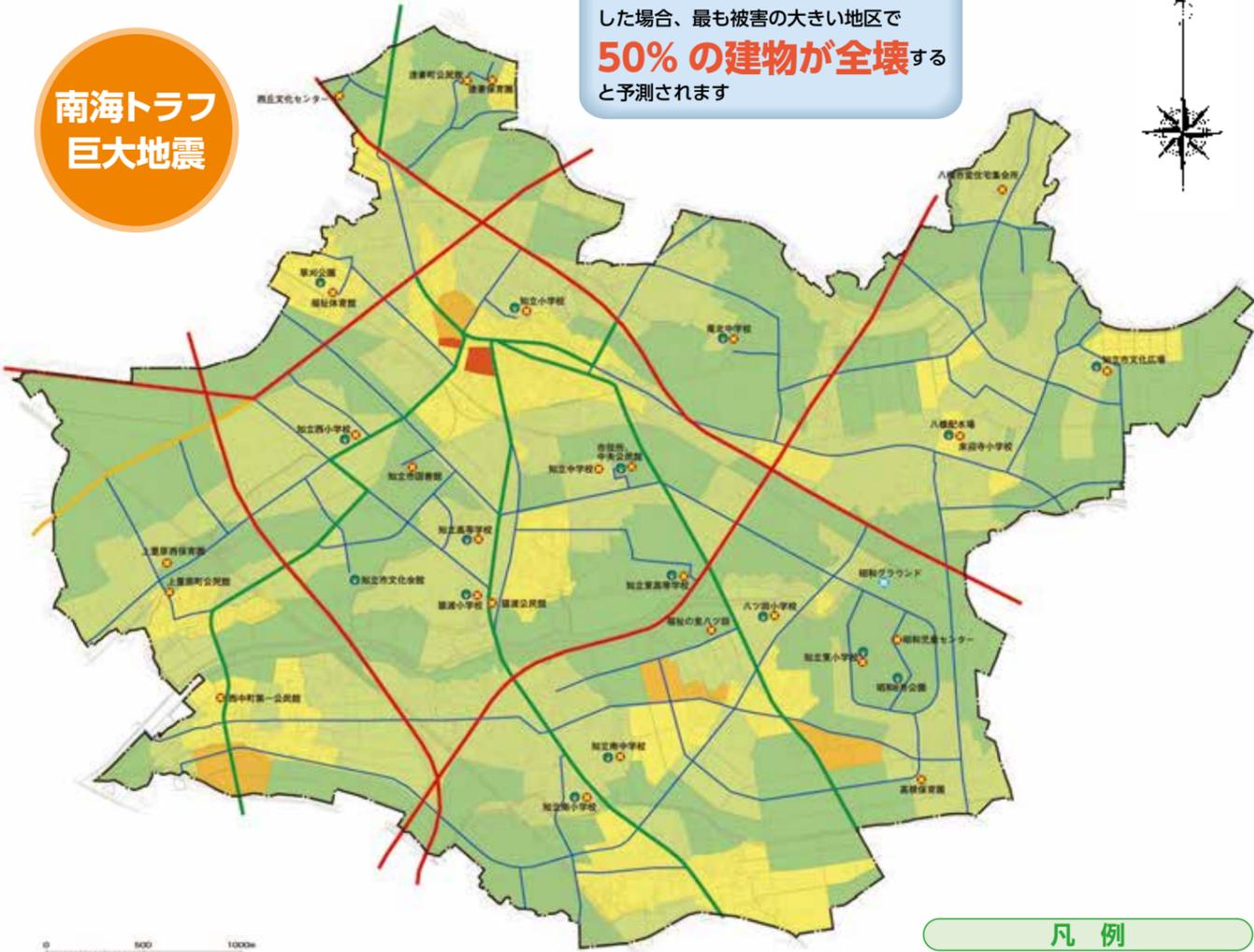
南海トラフ巨大地震が発生した場合を想定して、知立市域の建物全壊率を建物倒壊危険度マップにまとめました。

建物全壊率は、予測震度に対する小字ごとに建っている建築物の構造や建築年次から、「揺れの大きさ（計測震度）と全壊被害（全壊率）の関係」により、求めています。

## 海溝型地震

南海トラフ  
巨大地震

知立市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合、最も被害の大きい地区で**50%の建物が全壊**すると予測されます



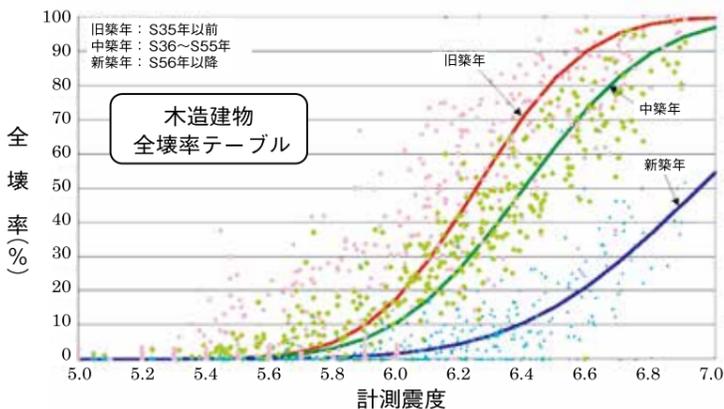
### 凡例

- 全壊建物棟数率
  - 50%以上
  - 40%以上50%未満
  - 30%以上40%未満
  - 20%以上30%未満
  - 10%以上20%未満
  - 10%未満

- 県指定
  - 第1次緊急輸送道路
  - 第2次緊急輸送道路
- 市指定
  - 県管理
  - 市管理
- 指定避難施設等
  - 広域避難場所
  - 避難所
  - 防災活動拠点

2019年1月現在

### 揺れの大きさ（計測震度）と全壊被害（全壊率）の関係

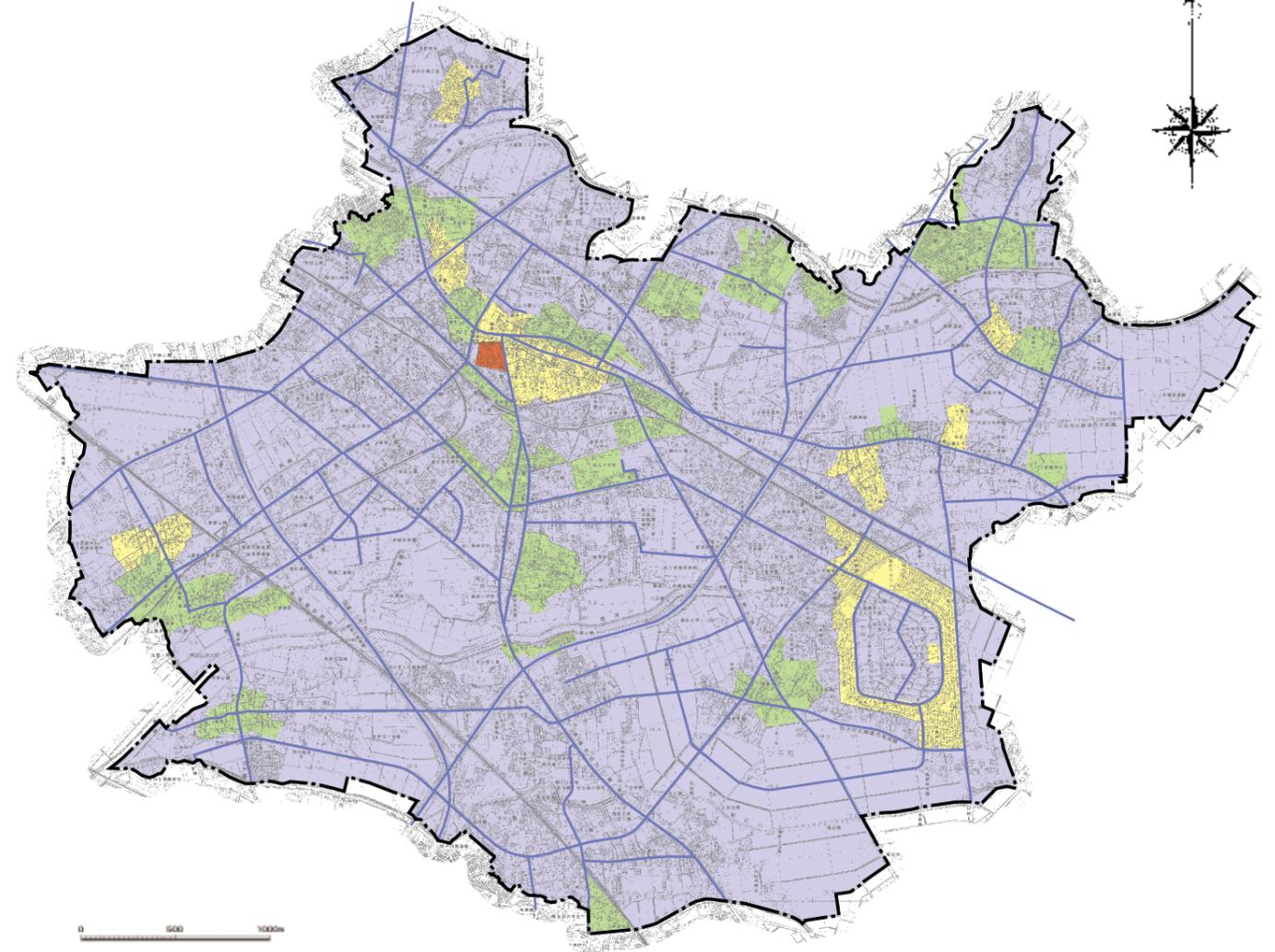


# 延焼危険度マップ

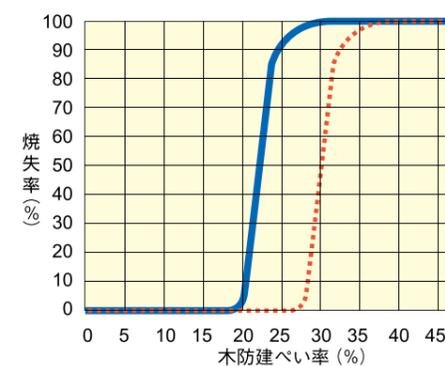
木防建ぺい率とは、火災による市街地の延焼危険度を示す代表的な指標の一つで、地区面積（大規模な空地などを除く）に対する、木造建物の建築面積の割合です。

木防建ぺい率と市街地の焼失率の関係（下図）によれば、木防建ぺい率が40%を超えると延焼が拡大する危険性が非常に高く、逆に木防建ぺい率が20%未満であれば延焼拡大の面で安全であるといえます。

## 木防建ぺい率分布図



### 木防建ぺい率と市街地の焼失率の関係



- 木造から木造に燃え移る場合
- ⋯ 防火木造から防火木造に燃え移る場合

木防建ぺい率が20%を超えると焼失率が急激に高くなっています。

出典：建設省建築研究所作成  
(安全・安心住宅市街地ネットワーク会議報告書(2003(平成15)年3月愛知県建設部)より)

### 凡例

- 木防建ぺい率
    - 30%以上
    - 25%以上～30%未満
    - 20%以上～25%未満
    - 15%以上～20%未満
    - 15%未満
- ※小字単位で色分け

# 集中豪雨から身を守りましょう

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりごろによく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は現状困難です。そのため、気象情報や起きている現象から危険レベルを判断し、行動することが重要になってきます。

## 集中豪雨の危険を知っておきましょう

- 短時間で危険な水位**  
河川、溪流、下水管、用水路などは、激しい雨が降ることやまわりから雨が流れ込むことで、数分から数十分で危険な状態となります。
- 排水能力を超える大雨**  
雨水排水能力（1時間当たり50mm）を大きく超える時間雨量が続くと、排水能力を上回り危険な状態となります。
- 注意報や警報が出ない雨でも災害が発生する**  
大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達しないわずかな雨でも災害が発生するおそれがあります。数分から数十分で危険な状態となります。
- 離れた場所の雨でも影響する**  
大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達しないわずかな雨でも災害が発生するおそれがあります。数分から数十分で危険な状態となります。

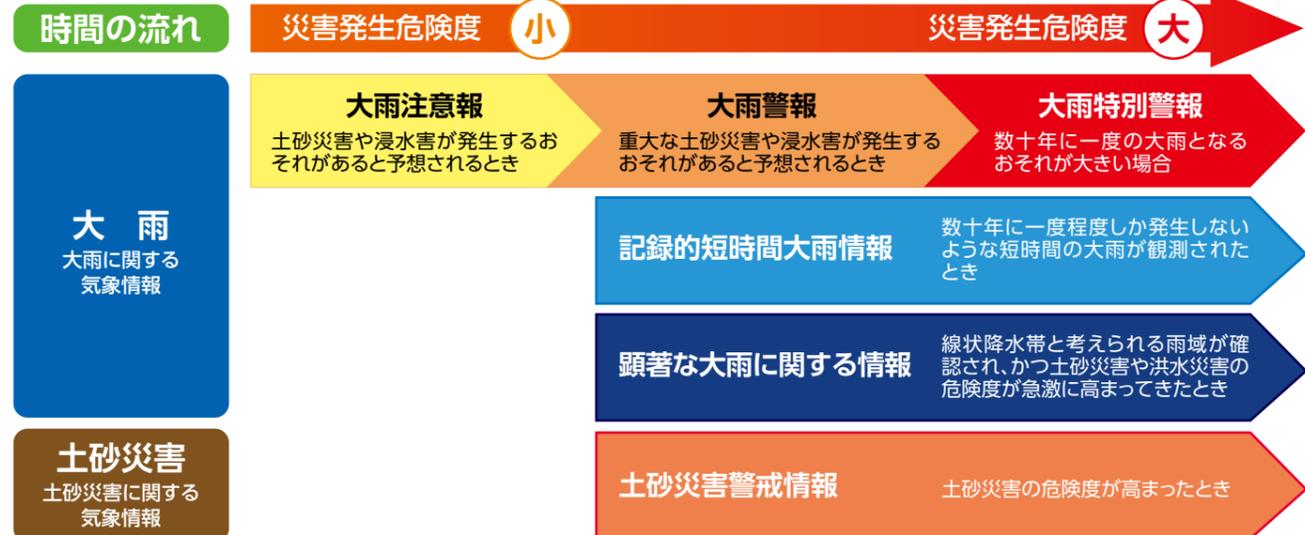
## このような前兆を確認したら避難

- 空が真っ黒になったり、雷鳴や稲妻を確認したら建物内へ避難
- 冷たい風が吹き出したら注意
- 大粒の雨やひょうが降り出したら建物内へ避難
- 川の水かさが増したり、濁ってきたら即避難
- 雨の日に周囲より低い位置にいる場合は、高い場所へ移動

## 防災気象情報などの標準的な発表の流れを知っておこう

気象庁の防災気象情報は、平常時から災害発生危険度が高まるにつれて、各種情報が発表されます。常に最新の情報を入手し避難行動に生かしましょう。

※下図は、あくまでも防災気象情報などを時系列的にわかりやすく示したもので、実際の情報の流れがこの通りになるといわけではありません。



# 避難するときの注意点

災害が発生し、家屋内にとどまることが危険な状態になった場合は、落ち着いてすばやく避難する必要があります。その際には、子どもや高齢者などの要配慮者の保護を念頭に置き、近所の一人暮らし高齢者世帯などにも声をかけるなど近隣で協力することが大切です。

## 避難に対する基本的な考え方

- 避難は自ら判断を**  
災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。どの時期に何をすれば良いのかを「マイ・タイムライン」を作って確認しておきましょう。マイ・タイムラインは、知立市洪水ハザードマップを参考にしてください。
- 命を守る最低限の行動を**  
危険な状況のなかでの避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定避難所への移動（①水平避難）だけでなく、命を守る最低限の行動（②垂直避難）が必要な場合もあります。

**例えは**

- 堤防の決壊で家屋消失・浸水の危険がある地域に住んでいる
- 子どもや高齢者など家族に要配慮者がいる

とにかく早期の避難を心がけてください

**例えは**

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい
- ひざ上まで浸水している（50センチ以上）
- 浸水は20センチ程度だが、水の流れる速度が速い
- 浸水は10センチ程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

屋外への移動は危険です。浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください

## 警戒レベルと避難行動

警戒レベル	「避難」情報 (知立市発令)	「雨」の防災情報 (気象庁発表)	「川」の防災情報 (国土交通省・愛知県発表)	住民がとるべき行動
<b>5</b>	緊急安全確保※1	大雨特別警報	はん濫発生情報	命の危険 直ちに安全確保!
警戒レベル4までに必ず避難!				
<b>4</b>	避難指示※2	土砂災害警戒情報	はん濫危険情報	危険な場所から全員避難
<b>3</b>	高齢者等避難※3	大雨警報／洪水警報	はん濫警戒情報	危険な場所から高齢者等の避難に時間がかかる人は避難
<b>2</b>	—	大雨注意報／洪水注意報	はん濫注意情報	自らの避難行動を確認
<b>1</b>	—	早期注意情報	—	災害への心構えを高める

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

**洪水情報を発表する基準となる水位**

**川の洪水情報などについて**  
くわしくは…  
「愛知県 川の防災情報」  
(<http://www.kasen-aichi.jp/>)  
を参考にしてください。

# 知立市 洪水ハザードマップ

このマップは概ね1000年に一度程度の最大規模の降雨によって二級河川 逢妻川、逢妻男川、猿渡川、吹戸川、割目川及び一級河川 矢作川などの河川が増水し、水があふれたり堤防が壊れたりしたときに起こりうる最も危険な浸水状況（浸水範囲と浸水深）を表したものです。

流域名	河川名	計算の前提となる降雨量
逢妻川流域	逢妻川、逢妻男川	24時間の流域総雨量 765mm
猿渡川流域	猿渡川、吹戸川、割目川	24時間の流域総雨量 822mm
矢作川流域	矢作川	48時間の流域総雨量 683mm

- このマップは水防法第14条第1項に規定された洪水浸水想定区域図と愛知県が公表している浸水予想図を重ね合わせ、最大となる浸水範囲と浸水深を表したものであり、この浸水が必ずしも同時に起こるとは限りません。
- マップに示した浸水範囲や浸水深は、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては浸水の想定されていない地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さとは異なる場合があります。
- 過去の浸水区域はマップあいち-愛知県統合型地理情報システム-内にある「水害情報マップ」を参照してください。  
[URL] <https://maps.pref.aichi.jp>



### 洪水浸水の深さの目安

1.0m 大人でもおぼれる危険性のある深さ

0.5m 屋外での避難行動が困難になる深さ

0.3m 子どもの避難行動が困難になる深さ

2階の建物が水没、3階以上の建物が浸水する深さ

2階天井まで浸水する深さ

1階天井まで浸水する深さ

※1階が浸水するおそれがある区域は、早期の立退き避難が必要です。

### 浸水深凡例

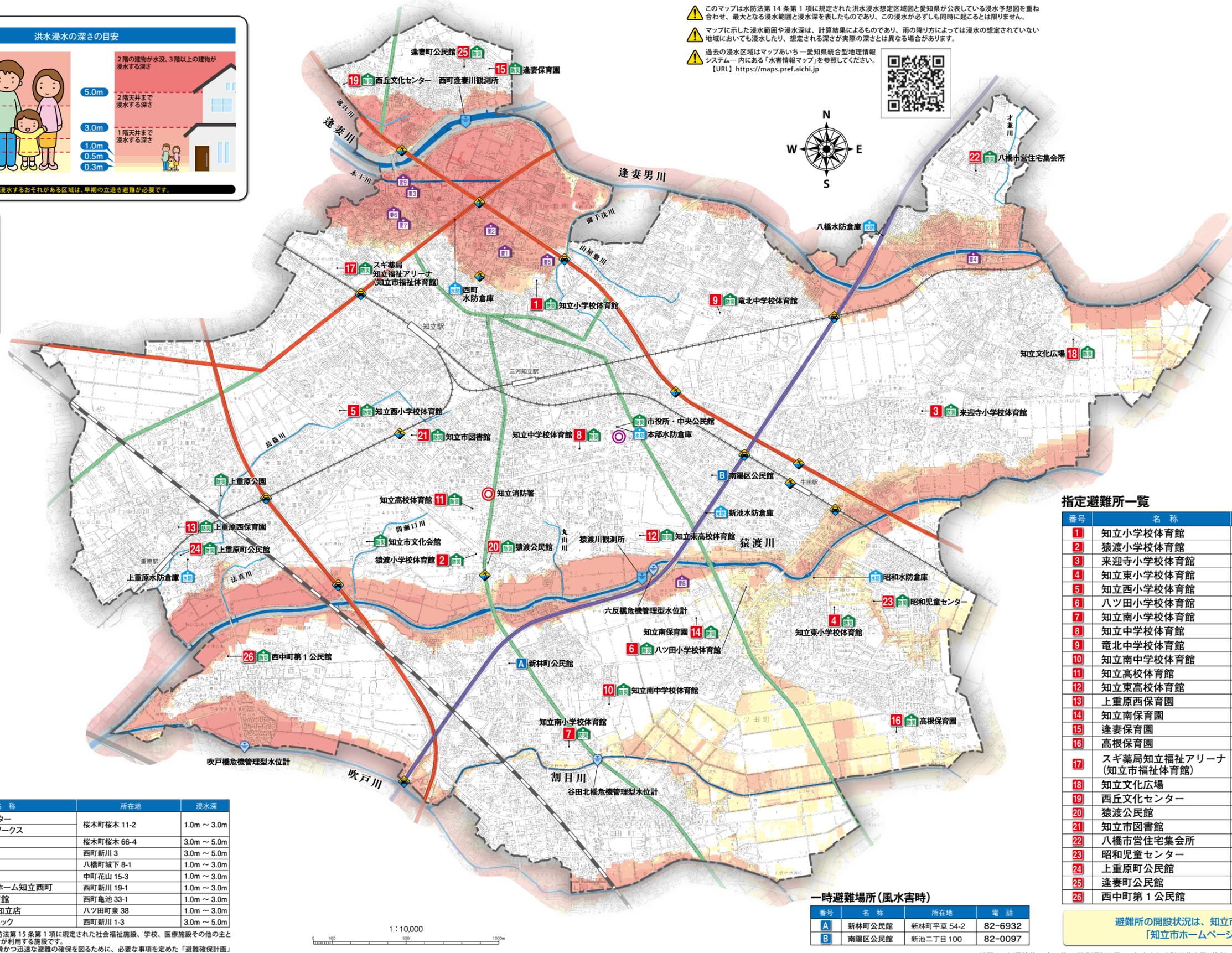
5.0m ~ 10.0m
3.0m ~ 5.0m
1.0m ~ 3.0m
0.5m ~ 1.0m
0.3m ~ 0.5m
~ 0.3m

地図の詳細及び他言語版（英語、ポルトガル語）については、知立市洪水ハザードマップホームページをご確認ください。

### 要配慮者利用施設

番号	名称	所在地	浸水深
1	知立市保健センター	桜木町桜木 11-2	1.0m ~ 3.0m
2	知立市かどれあワークス	桜木町桜木 66-4	3.0m ~ 5.0m
3	こもれび第1	桜木町桜木 66-4	3.0m ~ 5.0m
4	知立保育園	西町新川 3	3.0m ~ 5.0m
5	八橋保育園	八橋町城下 8-1	1.0m ~ 3.0m
6	桜木幼稚園	中町花山 15-3	1.0m ~ 3.0m
7	愛の家グループホーム知立西町	西町新川 19-1	1.0m ~ 3.0m
8	プレステージ末廣館	西町亀池 33-1	1.0m ~ 3.0m
9	おんじいのへや知立店	八ツ田町泉 38	1.0m ~ 3.0m
10	いわせ外科クリニック	西町新川 1-3	3.0m ~ 5.0m

※要配慮者利用施設とは、水防法第15条第1項に規定された社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設です。  
※上記施設には、利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために、必要な事項を定めた「避難確保計画」の策定と年1回以上の定期的な訓練が義務付けられています。



### 凡例

---	行政界
◎	市役所
⊙	消防署
⚠	避難時通行危険箇所（アンダーパス）
⚠	避難時通行危険箇所（地下横断歩道）
1	指定避難所
A	一時避難場所（風水害時）
🏠	要配慮者利用施設
🏠	防災倉庫
🏠	水防倉庫
📏	水位観測所
📏	危険管理型水位計
🚆	私鉄
🚆	JR
🛣	衣浦豊田道路
🛣	国道
🛣	県道、主要地方道
🌊	河川等範囲
🌊	二級河川（県管理）
🌊	準用河川（市管理）

### 指定避難所一覧

番号	名称	所在地	電話
1	知立小学校体育館	中町花山 70	81-1371
2	猿渡小学校体育館	上重原町小針 115	81-1372
3	来迎寺小学校体育館	来迎寺町外山 5-1	81-1373
4	知立東小学校体育館	昭和 9丁目 1	81-3694
5	知立西小学校体育館	鳥居一丁目 13-2	82-0575
6	八ツ田小学校体育館	八ツ田町川畔 45	82-6807
7	知立南小学校体育館	新林町新林 55-1	83-0616
8	知立中学校体育館	広見二丁目 4	81-1370
9	竜北中学校体育館	山屋敷町東山 2-2	82-8131
10	知立南中学校体育館	新林町本林 20-1	82-5155
11	知立高校体育館	弘法二丁目 5-8	81-0319
12	知立東高校体育館	長篠町大山 18-6	82-0568
13	上重原西保育園	上重原町城後 60-4	82-9246
14	知立南保育園	八ツ田町神明 35	81-4056
15	逢妻保育園	逢妻町錦 8	82-2733
16	高根保育園	牛田町高根 218	82-4417
17	スギ薬局知立福祉アリーナ（知立市福祉体育館）	西町草刈 10-5	82-5151
18	知立文化広場	八橋町井戸尻 28-1	83-2673
19	西丘文化センター	西丘町西丘 32-1	82-1200
20	猿渡公民館	上重原町小針 118-6	83-0676
21	知立市図書館	南新地二丁目 3-3	83-1131
22	八橋市営住宅集会所	八橋町山田谷 8-81	
23	昭和児童センター	昭和 7丁目 1	81-1380
24	上重原町公民館	上重原町本郷 38	82-2552
25	逢妻町公民館	逢妻町錦 11-3	82-1960
26	西中町第1公民館	西中町天神 27-2	83-2367

### 一時避難場所（風水害時）

番号	名称	所在地	電話
A	新林町公民館	新林町平草 54-2	82-6932
B	南陽区公民館	新池二丁目 100	82-0097

避難所の開設状況は、知立市役所（0566-83-1111）もしくは「知立市ホームページ」などでご確認ください。

この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、知立市都市計画基本図を複製したもの（令和2年6月29日付け知都計第99号承認）である。

# 在宅避難のポイント

避難所は、自宅が大きな被害を受け、自宅での生活が困難な人々のために開設されます。避難所は共同生活のため、プライバシーを守ることも難しく、居住スペースや物資にも限りがあり、決して良好な環境ではありません。地震と自宅の安全が確保できたならば、住み慣れた自宅での生活を続ける「在宅避難」を強くお勧めします。

**1 地震発生！自分の命をまず守る**

家中のセーフティゾーン（倒れてくるもの、落ちてくるもの、割れるものがなく、室外に通じる経路が確保できる場所）に逃げ込む。

**2 身体のダメージを確認する**

地震直後はケガをしていても自分では気がつかないことがあるので家族で確認するとよい。



**3 揺れがおさまったら自宅の状況を確認**

ドアは開くか  柱や梁にひび割れはないか  
 柱は傾いていないか  火災は発生していないか

ライフラインが復旧し、食料や日用品が買えるお店が再開するまで、家族や地域の人々と協力して避難生活を乗り切る。

**12 適度な運動と規則正しい生活で心身の健康を保つ**

十分に休息をとって体力を温存する。また「エコノミークラス症候群※」を予防するため、ストレッチや体操をこまめに行う。



※同じ姿勢を長く続けることによって血栓が生じ、呼吸困難や心臓停止を含むさまざまな症状を引き起こすこと。

**11 水を補給する**

季節を問わず、しっかり水分をとることが大切。備蓄の水が乏しくなったら、給水車や給水場所に受け取りに行く。

**10 生活に必要な情報を手に入れる**

水や物資の配給、入浴支援、ライフラインの復旧など暮らしを支える情報は、避難所の掲示板や防災ラジオなどから得ることができる。



## 在宅避難のための事前の備え

**建物と室内の安全確保**

家屋の大きな損傷を防ぐため耐震診断を受け、必要に応じて耐震補強を施す、また家具の転倒防止装置を正しく設置し、室内の安全を確保する。

**食料・水・燃料**

- 10日間程度の食料品や水を備えておく。
- 1人当たりの水の必要量は1日3ℓ。4人家族の場合、3ℓ×4人×10日=120ℓ（2ℓボトル×60本）
- 日持ちする食品を多めに買い、使った分だけ補充する循環型備蓄を日ごろから心がける。
- 調理に使うカセットコンロの動作を確認し、カセットボンベの在庫を蓄えておく。
- ペットのいる家庭は、ペット分を追加。



**健康管理**

持病や障害がある場合は、日ごろから主治医に相談し、災害時の対策を立てておく。



**情報**

正確な被害情報や生活情報を手に入れる方法を考えておく。

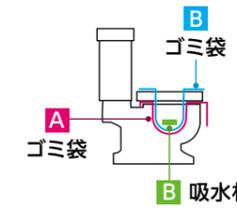


- 防災ラジオ
- 避難所の掲示板
- 知立市すぐメール（防災情報）  
(<https://plus.sugumail.com/usr/chiryu/home>)
- 知立市公式LINE LINE ID : @chiryu\_city
- 市内の同報無線や広報車
- ご近所との情報交換

**非常用トイレ**

4人家族が10日間にトイレを利用する回数は約200回。自宅のトイレを利用した非常用トイレの作り方を、汚物の処理方法を含めて事前にマスターしておく。

**非常用トイレの作り方**

**使用前**  **使用後** 

ゴミ袋 A 吸水材 B

Bを取り出し、しっかり口をしぼる。消臭剤とともに密閉容器に入れる。

**4 行動の前に正しい情報を**

停電時でも聞くことができる乾電池式や充電式のラジオ、スマートフォンのラジオ、テレビ、知立市のウェブサイトなどから信頼できる情報を得る。

知立市ウェブサイト



**こんなときは…**

- 家が壊れている → 指定避難所へ
- 一人で家にいるのが不安 → 指定避難所へ
- 自宅や近所で火災が起きている → 広域避難場所へ

**5 家にいても大丈夫そうだったら在宅避難スタート**

余震に注意して家族で過ごす場所を確保する。作業時は手袋や履物でケガを防ぐ。



**9 温かい食事と心と体を元気にする**

余震の回数が減り、火気使用の危険がなくなったら、カセットコンロなどを用いて温かい食事を作る。

**8 家にある食材や備蓄品で作れる食事のメニューを考える**

冷蔵品など傷みやすいものから順に使うものから順に使う。

**7 こんなときこそエネルギー補給**

チョコレートやビスケットなど調理のいらない食品で、エネルギーと水分を補給する。

**6 トイレを準備**

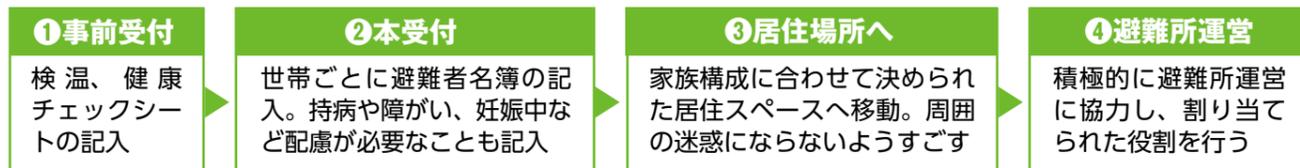
家のトイレを非常用トイレに変える。排水設備や下水道の損傷がないことが確認できるまでは、水を流してはいけない。

指定避難所は、災害の危険がなくなるまで避難者が滞在したり、自宅が被災し戻れなくなった被災者が一定期間滞在する場所です。自宅が安全であれば、住み慣れた場所での在宅避難に備えて日ごろから住宅の耐震化や備蓄をしっかりとしておくことが大切です。

## ● 避難所の運営

指定避難所は、避難所を利用する人や自主防災会などの地域の人たちによる自主運営を原則とします。運営が特定の人々の過度な負担とならないよう、避難所運営に参加しましょう。

避難所へ到着したら・・・



## ● 避難所生活での注意点

避難所にはさまざまな人が避難してきます。お互いのプライバシーに配慮し、思いやりをもって共同生活を送りましょう。

- |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>共通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●物干し場、休養スペースを設けるようにしましょう。</li> <li>●更衣室は、一人ずつ使える時間帯をつくるなど配慮しましょう。</li> <li>●女性専用スペースや子ども専用スペースを確保しましょう。</li> <li>●トイレを安全に利用できるように配慮しましょう。</li> <li>●不安や悩みなどに対する相談窓口を設置し、ポスターや掲示板などで広く周知しましょう。</li> </ul> | <p><b>女性・妊産婦</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●下着などを安心して干せるスペースを確保しましょう。</li> <li>●乳幼児の授乳、おむつ替えなどのスペースを確保しましょう。</li> <li>●生理用品などの物資を女性担当者から受け取れるようにしましょう。</li> </ul> |
| <p><b>高齢者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●筋肉が衰えないように、なるべく身体を動かすことを促しましょう。</li> <li>●あいさつをしなくなったなど、周囲への意識が薄れている様子がないか注意しましょう。</li> </ul>                                                                                                          | <p><b>乳幼児</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●おもちゃや絵本などを用意し、遊べる環境をつくりましょう。</li> </ul>                                                                                  |
| <p><b>障がい者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●避難所内の段差をなくすなどバリアフリーに配慮しましょう。</li> <li>●視覚や聴覚が不自由な人には、音声や文字などで必要な情報を伝えましょう。</li> </ul>                                                                                                                 | <p><b>外国人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ひらがな・カタカナを使う、多言語翻訳アプリを活用するなどして、わかりやすく情報提供しましょう。</li> </ul>                                                               |

### 避難所以外で避難している人

- 食料や物資支援対象者から漏れないよう、在宅避難や車中泊の人も避難者名簿の記入をしてもらいましょう。
- 避難所の空きスペースを利用して、食料や物資、情報を届ける支援を行いましょう。

### 避難所生活では防犯意識を高くもつことが大切です。

- 可能な限り一人での行動は避け、家族や友人などと複数人で行動する。
- 子どもを一人にせず、常に大人が付き添うようにする。
- 就寝場所や専用スペースなどの巡回警備を行い、暴力を許さない環境づくりを。
- 防犯ブザーを配布するなど、安全・安心の確保に努める。

詳しくは、知立市避難所運営マニュアル（市防災倉庫に保管）を参考にしてください。

### 被災者に対するこころのケアに関する相談窓口等

こころの耳（厚生労働省） <https://kokoro.mhlw.go.jp/victims/>



災害時におけるメンタルヘルスについて（愛知県） <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/seishin-c/saigai-mental.html>



災害時には正しい情報の入手を心がけましょう。注意情報、避難等の情報は、ラジオやテレビ、市の広報などから入手し、デマに惑わされないようにしましょう。

- ※市や警察、消防の発表や指示、テレビ、ラジオが伝える情報にもとづいて冷静に行動しましょう。
- ※「…だろう」「…にちがいない」という勝手な憶測をあいまいなまま伝えるのがデマのもとになります。

## ● 地元の情報は地元の放送局から！

地元の放送局からは、身近できめ細かな情報を入手できます。特にラジオは停電時でも聞くことができ、阪神・淡路大震災や東日本大震災の時も有力な情報源となりました。

災害時はラジオ Pitch FM 83.8MHz

ケーブルテレビ キャッチネットワーク 地上デジタル121・111chで放送 ※スマートフォン用の「キャッチアプリ」もあります。

「防災ラジオ」配布事業

同報無線の子局からの災害情報が聞き取りにくい場合のため、市では災害時の同報無線を自動受信する防災ラジオを配布しています。AMやFM放送を聴いているときでも自動的に切り替わるので万が一の場合に安心です。申請方法など詳しくは安心安全課にお問い合わせください。[負担金]・市内在住の世帯主 2,000円/1台・市内事業所の事業主 3,000円/1台

## ● 知立市すぐメール（事前登録制）

災害緊急情報、気象警報・注意報、地震情報、火災情報など市からのお知らせを受信できる情報配信サービスです。

登録はこちらから  
または空メール  
t-chiryu@sg-p.jp



## ● スマートフォンのアプリを活用

**Yahoo! 防災情報**  
あらかじめ利用者が設定したエリア(最大3か所)と現地(アプリ版のみ)の防災情報をプッシュ通知で受け取ることができます。

**NHK ニュース・防災アプリ**  
ニュースや天気予報、災害・気象情報を地図で確認できるほか、避難情報も配信されます。

**知立市公式 LINE アカウント**  
事前に友だち登録をしておけば、災害情報が配信されます。

公式アカウント名: 知立市  
LINEID: @chiryu\_city

**中部電力・停電情報お知らせサービス**  
中部電力パワーグリッドが提供するスマートフォン無料アプリでは、台風や地震による広域停電発生時に、停電の発生・復旧に関する情報や、雷に関する情報などを配信しています。

## ● 避難サイレンの種類

避難サイレンは「愛のチャイム」でおなじみの同報無線から放送します。防災ラジオからも聞くことができます。

種類	サイレン信号	伝達内容
水防信号サイレン	10秒鳴らす 2秒休む (繰り返し)	大雨や台風で河川に氾濫の危険が迫っている場合に放送します。避難場所や安全な場所、親族、知人宅等へ速やかに避難してください。
地震防災信号サイレン	45秒鳴らす 15秒休む (繰り返し)	東海地震に関する予知情報（警戒宣言）が発令された場合に放送します。いつでも行動できるよう準備し、自宅または安全な場所で待機してください。

## ● 災害用伝言ダイヤル

災害時は電話が狭い範囲で集中するため、非常につながりにくくなります。安否確認には以下の災害用伝言ダイヤルをご利用ください。

安否などの確認に **NTT 災害用伝言ダイヤル 171** ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

家族や知人間などの連絡に活用できます。

伝言の録音方法 **171⇒1⇒(000)000-0000**  
ガイダンスが流れます 被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

伝言の再生方法 **171⇒2⇒(000)000-0000**  
ガイダンスが流れます 被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を



# 非常持出品・備蓄品

これらは、あくまでも目安です。人それぞれ必要なものは違います。1日を振り返って必要なものを用意しましょう。

最初に持ち出す非常持出品と、災害復旧まで数日間を生活できるよう備蓄品を分けて、人数分を用意しておきましょう。知立市でのライフラインの復旧にかかる期間は、電気・通信は1週間、ガスは2週間、下水道は3週間、上水道は6週間と想定されています。

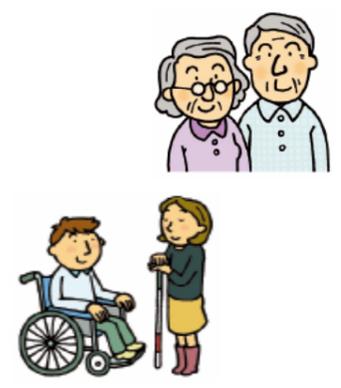
## 非常持出品 (1日分)

- |                                          |                                              |                                                |
|------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 (1人1日3ℓ)    | <input type="checkbox"/> 現金 (小銭も)            | <input type="checkbox"/> 防臭袋                   |
| <input type="checkbox"/> パン缶などの缶詰類       | <input type="checkbox"/> 預金通帳のコピー            | <input type="checkbox"/> 眼鏡、コンタクト用品            |
| <input type="checkbox"/> レトルト食品、栄養補助食品   | <input type="checkbox"/> 免許証などの身分証明書         | <input type="checkbox"/> ティッシュ、ウェットティッシュ       |
| <input type="checkbox"/> 簡易食 (あめやゼリーなど)  | <input type="checkbox"/> マイナンバーカードのコピー       | <input type="checkbox"/> 筆記用具                  |
| <input type="checkbox"/> 下着・靴下           | <input type="checkbox"/> 健康保険証のコピー           | <input type="checkbox"/> ビニール袋                 |
| <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン (防寒・防暑) | <input type="checkbox"/> 家族の写真               | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ               |
| <input type="checkbox"/> 靴               | <input type="checkbox"/> 自分や家族の情報が書かれたカード    | <input type="checkbox"/> 常備薬                   |
| <input type="checkbox"/> 両手のあくレインウェア     | <input type="checkbox"/> 寝袋                  | <input type="checkbox"/> 口腔ケアウェットシート           |
| <input type="checkbox"/> タオル             | <input type="checkbox"/> テント                 | <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ                |
| <input type="checkbox"/> 非常用ライト          | <input type="checkbox"/> ホイッスル               | <input type="checkbox"/> マスク                   |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ           | <input type="checkbox"/> 簡易食器 (わりばし、紙皿など)    | <input type="checkbox"/> アルコール消毒液              |
| <input type="checkbox"/> 予備の電池           | <input type="checkbox"/> アルミブランケット (保温できるもの) | <input type="checkbox"/> 除菌シート                 |
| <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー       | <input type="checkbox"/> スリッパ                | <input type="checkbox"/> 体温計                   |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット           |                                              | <input type="checkbox"/> 持っていると安心できるもの (アロマなど) |
| <input type="checkbox"/> レジャーシート         |                                              |                                                |



## 高齢者・要介護者がいる家庭に役立つもの

- 大人用紙おむつ
- 紙パンツ
- 杖
- 入れ歯
- 入れ歯用洗浄剤
- 介護用品
- 老眼鏡
- 補聴器
- 常備薬、お薬手帳
- 障害者手帳
- ヘルプマーク
- 非常用電源 (ポータブル電源、発電機など)



## ペットや補助犬のために役立つもの

- |                                        |                                                               |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ケージやキャリーバッグ   | <input type="checkbox"/> タオル                                  |
| <input type="checkbox"/> ペットフード        | <input type="checkbox"/> ブラシ                                  |
| <input type="checkbox"/> 水             | <input type="checkbox"/> おもちゃ                                 |
| <input type="checkbox"/> おやつ           | <input type="checkbox"/> ペットと飼い主の写真                           |
| <input type="checkbox"/> 常備薬           | <input type="checkbox"/> 迷子札 (飼い主の連絡先、飼い主以外の緊急連絡先)            |
| <input type="checkbox"/> 予備の首輪         | <input type="checkbox"/> ワクチン接種状況、既往歴、投薬や検査結果、かかりつけの動物病院などの情報 |
| <input type="checkbox"/> 伸び縮みしないリード    |                                                               |
| <input type="checkbox"/> ハーネス          |                                                               |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てエサ皿       |                                                               |
| <input type="checkbox"/> ガムテープ         |                                                               |
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレ         |                                                               |
| <input type="checkbox"/> ポリ袋           |                                                               |
| <input type="checkbox"/> ペットシート、猫砂、防臭袋 |                                                               |

## 非常持出品、備蓄品の保管場所に工夫をしましょう!

非常持出品は玄関、リビング、寝室などすぐ持ち出せる場所に保管しましょう。ただし、夜間の災害時にすぐ使う懐中電灯はベッドの近くへ置くなど、用途に合わせてアレンジしておく安心です。備蓄品は分散して保管しておきましょう。マンションの場合、キッチンや玄関、廊下収納、クローゼットなどに分散させるのがおすすめです。一戸建てなら、1階と2階に分けておくと、水害の際にも対応できます。車のトランクも活用できます。

## 非常備蓄品 (3~7日分)

- |                                           |                                         |                                                  |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 (1人1日3ℓ)     | <input type="checkbox"/> 上着、着替え (防寒・防暑) | <input type="checkbox"/> ドライシャンプー                |
| <input type="checkbox"/> アルファ米            | <input type="checkbox"/> 下着             | <input type="checkbox"/> 電池                      |
| <input type="checkbox"/> 缶詰やレトルト食品        | <input type="checkbox"/> 靴              | <input type="checkbox"/> 毛布、タオルケット               |
| <input type="checkbox"/> 栄養補助食品           | <input type="checkbox"/> 防刃手袋           | <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー、ポータブル電源、発電機など |
| <input type="checkbox"/> 調味料              | <input type="checkbox"/> 常備薬            | <input type="checkbox"/> 使い捨て手袋                  |
| <input type="checkbox"/> 菓子類              | <input type="checkbox"/> ばんそうこう         | <input type="checkbox"/> ヘッドライト、LED ランタン         |
| <input type="checkbox"/> 簡易食器 (わりばし、紙皿など) | <input type="checkbox"/> 包帯             | <input type="checkbox"/> 簡易マット                   |
| <input type="checkbox"/> 卓上コンロ            | <input type="checkbox"/> アルコール消毒液       | <input type="checkbox"/> 寝袋                      |
| <input type="checkbox"/> 固形燃料             | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ          | <input type="checkbox"/> 給水用ポリタンク                |
| <input type="checkbox"/> ガスボンベ            | <input type="checkbox"/> マスク            | <input type="checkbox"/> 工具類                     |
| <input type="checkbox"/> 湯せん可能なポリ袋        | <input type="checkbox"/> 石けん            |                                                  |



## ● 防災ポーチ (0次の備え)

外出先で災害に遭遇した場合、家や避難所など安全な場所に移動するために必要なもの (モバイルバッテリー、身分証明書、筆記用具、メモ帳、小銭、マスク、ばんそうこう、ウェットティッシュ、飴、ゼリー飲料などの保存期間が長い食べ物、レジャーシート、冷感タオルや使い捨てカイロ、携帯トイレ、防犯ブザー、小型ライトなど) を専用ポーチに入れて普段から携帯し、防災意識を持ちましょう。

## ● 多様なニーズに合わせた備え

特別な対応が必要なものは、2週間以上の備えが必要です。また、日頃のご近所付き合いも防災につながります。災害が起きた後の行動をイメージして必要なものを備えましょう。

### 乳幼児、妊婦がいる家庭に役立つもの

- 普段使用しているママバッグに必要な防災グッズを足しましょう。また、バッグの中身は半年に一度見直しましょう。
- |                                       |                                           |
|---------------------------------------|-------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ミルク (粉または液体) | <input type="checkbox"/> 抱っこひも            |
| <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳びん     | <input type="checkbox"/> ガーゼハンカチ          |
| <input type="checkbox"/> ベビーフード       | <input type="checkbox"/> 洗浄綿              |
| <input type="checkbox"/> 水 (赤ちゃん用、軟水) | <input type="checkbox"/> スタイ              |
| <input type="checkbox"/> アレルギー対応食     | <input type="checkbox"/> 母乳パッド            |
| <input type="checkbox"/> 紙コップ、スプーン    | <input type="checkbox"/> 授乳ケープ            |
| <input type="checkbox"/> 紙おむつ         | <input type="checkbox"/> 母子手帳             |
| <input type="checkbox"/> おしり拭き        | <input type="checkbox"/> 保険証のコピー          |
| <input type="checkbox"/> 携帯用おしり洗浄器    | <input type="checkbox"/> マタニティマーク         |
| <input type="checkbox"/> 防臭袋          | <input type="checkbox"/> おもちゃなど子どもが安心するもの |
| <input type="checkbox"/> おんぶひも        |                                           |

### 女性のために役立つもの

- 生理用品、サニタリーショーツ
- おりものシート
- 軟膏 (デリケートゾーン保護用)
- カップ付きインナー
- 中身の見えないごみ袋
- スキンケアクリーム
- 化粧水、メイク落とし
- 髪留め
- 手鏡
- 持っている安心できるもの (アロマオイルなど)

避難所や災害時に役立つ情報の防災マップはハザードマップの裏にあるっぴ

知立市の災害情報は知立市すぐメール! 詳しくはQRコードを読み取るっぴ



知立市マスコットキャラクター「ちりゅっぴ」





# 防災メモ

あらかじめ記入し、家族みんなが  
わかるところに置いておきましょう。

緊急通報は落ち着いて!



- ①火事か、救急かを伝える
- ②自分の名前と住所を伝える。住所がわからなければ、目印となる建物を伝える
- ③何が燃えているのか、傷病者はどんな状態なのかを伝える
- ④安全な場所で救急車・消防車を待つ
- ⑤AEDがある場合、使える状態か判断する

## 緊急連絡先

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
知立市役所	0566-83-1111	電力会社	
知立消防署	0566-81-0119	かかりつけの病院	
安城警察署	0566-76-0110		
ガス会社			

## 家族の連絡先

家族の名前	連絡先 (勤務先・学校など)	電話番号	携帯電話番号

## 親戚・知人の連絡先

名前	電話番号	携帯電話番号	メモ

## 家族のデータ

連絡先	生年月日	血液型	アレルギー	持病	常備薬

お問い合わせ先：知立市役所安心安全課 電話 0566-95-0160

